



# ホンダ車をお買いあげいただきありがとうございます。

安全に留意し快適なバイクライフをお楽しみください。

## お車の引き渡しについて

★お買いあげになりましたら、ホンダ販売店にてこの取扱説明書と共に「メンテナンスノート」を受取り、下記の説明を受けてください。

- お車の正しい取扱いかた
- 保証内容と保証期間
- 点検・整備について
- 車両受領書・保証書受領書の記入・捺印

## 運転免許について

★この車を一般公道で運転するには、運転免許が必要です。ご自身の免許で運転できるか、確認してください。

この車の排気量：249 cm<sup>3</sup> (cc)

排気量により必要な免許が異なります。

★この車の乗車定員は、運転者を含め2人です。  
なお、運転免許を取得後1年未満の方は、法令により2人乗りはできません。

- ★この取扱説明書には、お車の正しい取扱いかた、安全な運転のしかた、簡単な点検の方法などについて説明してあります。「安全に関する表示」「安全運転のために」「メンテナンスを安全に行うために」は重要ですので、しっかりお読みください。
- ★車の取扱いを十分にご存じの方も、この車独自の装備や取扱いがありますので、運転する前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、メンテナンスノートもぜひお読みください。
- ★車を譲られる場合、次の方にこの取扱説明書およびメンテナンスノートをお渡しください。
- ★車の仕様、その他の変更により、この本の内容と実車が一致しない場合があります。ご了承ください。
- ★本書は、N S R250Rを中心に説明してあります。

### ★安全に関する表示

「運転者や他の方が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの



指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

### ★その他の表示



お車のために守っていただきたいこと



知っておいていただきたいこと

知っておくと便利なこと

# 目次

安全運転のために	5	前照灯上下切換えスイッチ	36
各部の名称	11	エンジンストップスイッチ	37
メータの見かた、使いかた	13	ホーンスイッチ	38
計器類	13	パッシングライトスイッチ	38
エンジン回転計(タコメータ)	13	方向指示器スイッチ	39
ディスプレイ	14	非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)	40
速度計(スピードメータ)	14	装備の使いかた	41
マルチ表示計	17	ヘルメットホルダ	41
水温計	17	ハンドルロック	42
区間距離計(トリップメータ)	18	フロントクッションの調整	46
積算距離計(オドメータ)	19	リヤクッションの調整	49
警告灯・表示灯	18	ブレーキレバーの距離調整	50
警告灯	20	シート	51
(警告内容の表示について)	21	書類・小物入れ	53
方向指示器表示灯	27	携帯工具入れ	54
前照灯上向き表示灯(ハイビーム パイロットランプ)	27	サイドカバー	55
ニュートラル表示灯	27	メンテナンスリッド	56
サイドスタンド表示灯	27	燃料とエンジンオイルの補給	57
スイッチの使いかた	28	燃料コック	58
PGMメモリーカードシステム	28	エンジンオイルの補給	59
PGMメモリーカード	31		

正しい運転操作	61	バッテリー	88
エンジンのかけかた	61	バッテリーターミナル部の清掃	89
チェンジのしかた	64	バッテリーの取付け、取外し	90
走りかた	65	ヒューズ	91
ブレーキの使いかた	67	ヒューズの点検、交換	91
メンテナンスを安全に行うために	70	冷却水	93
日常点検、定期点検、簡単なメンテナンス	73	冷却水量の点検	93
日常点検	75	冷却水の補給	94
定期点検	78	クラッチ	96
簡単なメンテナンス	80	クラッチレバーの遊びの点検	96
ブレーキ	81	トランスミッション	98
前輪ブレーキ	81	オイル量の点検	98
ブレーキ液の量の点検	81	オイル漏れの点検	100
ブレーキパッドの摩耗の点検	82	ドライブチェーン	101
後輪ブレーキ	83	緩み(たるみ)の点検	101
ブレーキ液の量の点検	83	給油と清掃	102
ブレーキパッドの摩耗の点検	84		
タイヤ	85		
空気圧の調整	85		
溝の深さの点検	85		
交換タイヤの選択について	86		

# 目次

---

車のお手入れ	103
アルミ部品、マグネシウムホイール の取扱い	104
フェアリングの取扱い	105
地球環境の保護について	106
色物部品をご注文のとき	107
マフラの純正マークについて	107
シリアルナンバーについて	108
フレーム号機	109
オーバーヒートしたとき	110
エンジンが始動しないとき	111
主要諸元	112
サービスデータ	118

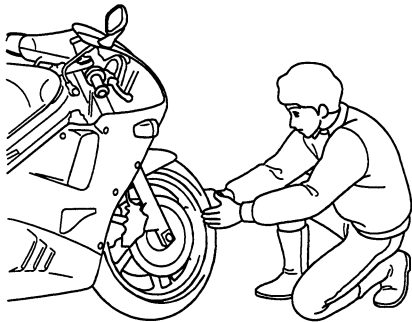
# 安全運転のために

---

ここであげた項目は、日常この車を取扱う上で必要な基本的なものです。これらの項目をいつもお守りいただき、安全運転を心がけてください。

## 運転する前に

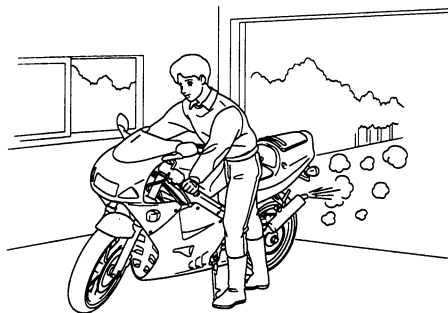
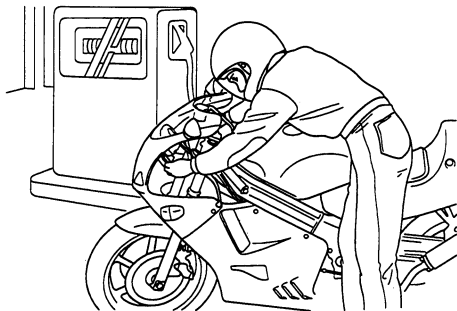
- 日常点検を行ってください。  
車は常に清潔に手入れをし、定められた点検整備を必ず行いましょう。  
日常点検は、75 ページ参照。



- 定期点検を実施してください。  
定期点検は、78 ページ参照。

## 安全運転のために

- ガソリンの補給は、必ずエンジンを止め、火気厳禁で行ってください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンは、風通しの良い場所でかけてください。





## 服装

- 運転者と同乗者は、必ずヘルメットを着用してください。これは、法令でも定められています。ヘルメットの着用は、あごひもを確実に締めるなど、正しく行ってください。  
ヘルメットは二輪車でS、SGマークかJISマークのあるものをお勧めします。頭にしっかりと合せて圧迫感のないものをお選びください。
- 保護具や保護性の高い服を着用してください。
  - ・フェイスシールドまたはゴーグルの使用
  - ・くるぶしまで覆い、かかとのある靴の着用  
－二輪車用ブーツが望ましい
  - ・摩擦に強い皮製の手袋の着用
  - ・長ズボンと長袖のジャケットの着用  
－明るく目立つ色の動きやすい服装で体の露出の少ないものを着用してください。  
－すその広いズボンや袖口の広いジャケットは、ブレーキやチェンジ操作のじまになり思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。

## 警告

ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

運転者と同乗者は乗車時、必ずヘルメット、保護具および保護性の高い服を着用してください。

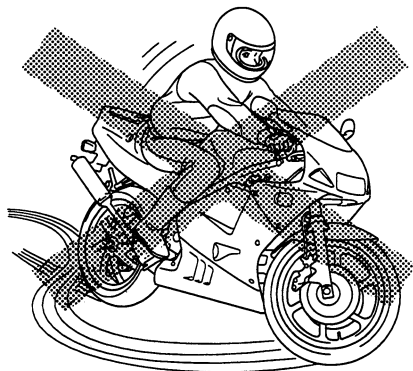
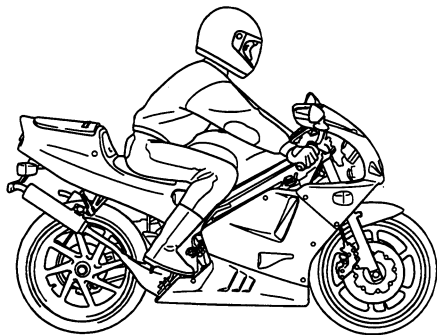


# 安全運転のために

## 乗りかた

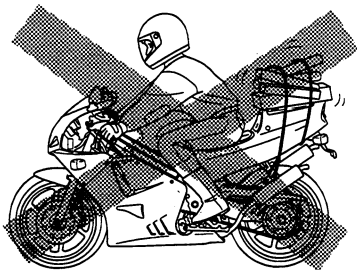
- 走行中は、運転者は両手でハンドルを握り、両足をステップに置いてください。
- 同乗者は、両足を後席用ステップに置き、両手からだを保持してください。運転者は、同乗者の乗車姿勢を確認してください。

- 急激なハンドル操作や、片手運転は避けてください。  
これは、すべての二輪車の安全運転の原則です。



## 荷物

- 荷物を積んだときは、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。積載するときは、“積み過ぎない”、“荷物を固定する”など十分注意し、安全に走行してください。
- ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作ができなくなる場合があります。物を置かないでください。
- ヘッドライトレンズの前を荷物等でさえぎらないでください。過熱によりレンズが溶けたり、荷物等まで損傷する場合があります。



## 改造

- 車の構造や機能に関する改造は、操縦性を悪化させたり、排気音を大きくしたり、ひいては車の寿命を縮めることがあります。不正改造は法律に触れることは勿論、他の迷惑行為となります。このような改造に起因する場合は、保証が受けられません。

# 安全運転のために

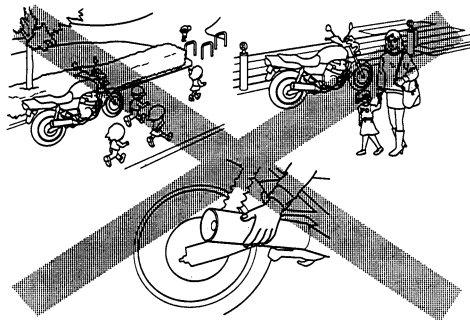
## 駐車

- 水平でしっかりした地面の場所に駐車してください。
- 交通のじゃまにならない安全な場所を選んで駐車しましょう。
- マフラなどが熱くなっています。他の方が触れることのない場所に駐車しましょう。
- エンジン回転中および停止後しばらくの間はマフラ、エンジンなどに触れないでください。

### ⚠ 注意

マフラ、エンジンなどは、エンジン回転中および停止後しばらくの間は熱くなっています。このとき、マフラ、エンジンなどに触れるとヤケドを負う可能性があります。

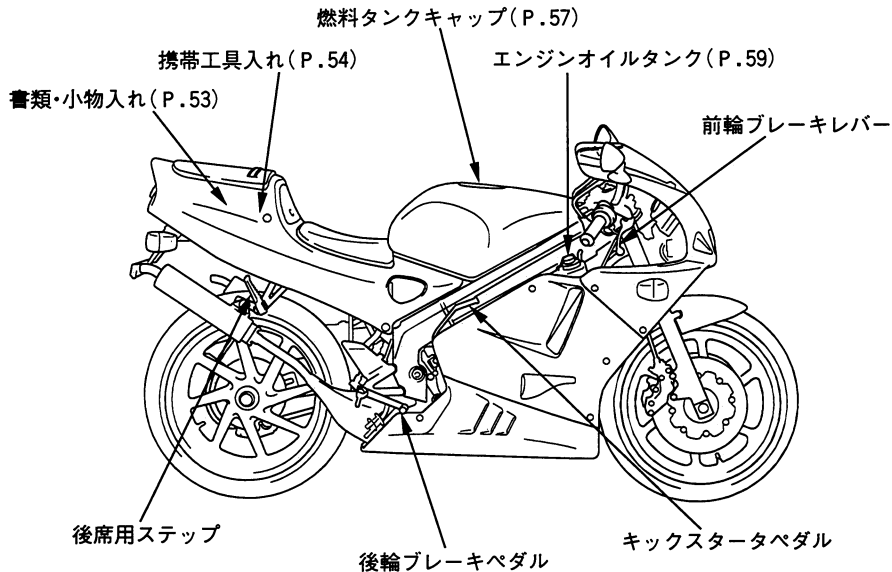
- エンジン回転中および停止後しばらくの間はマフラ、エンジンなどに触れないでください。
- 他の方がマフラ、エンジンなどに触れることのない場所に駐車してください。



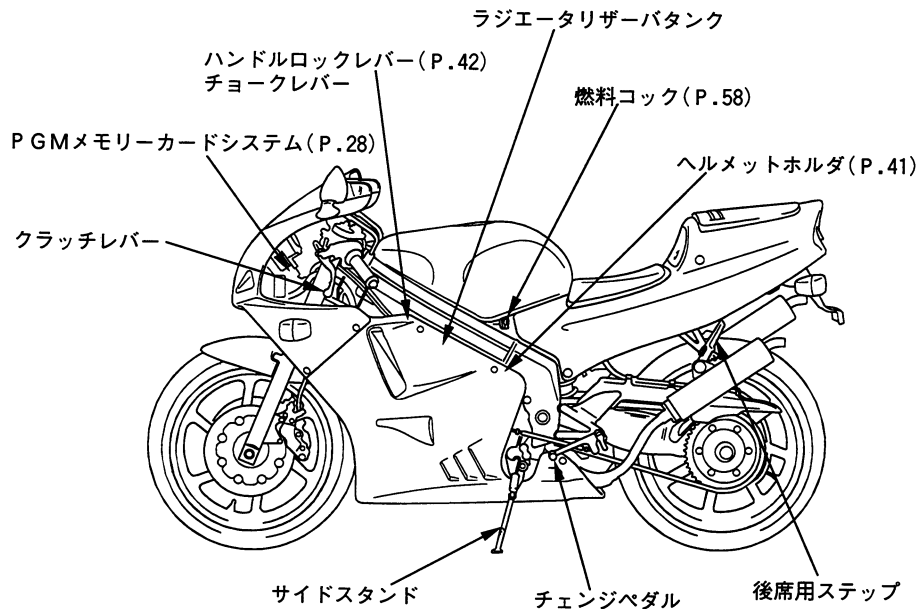
## サイドスタンドでの駐車について

- 車は水平な場所にハンドルを左にきって駐車しましょう。  
次のような状態では、車が不安定になり、転倒するおそれがあります。
    - ハンドルを右にきった状態での駐車。
    - 傾斜地、砂利を敷いた所、でこぼこな所、地面の軟かい所等での駐車。
- やむをえず上記のような不安定な場所に駐車せざるを得ないときは、車の転倒・動き出しのないよう、安全処置に十分留意してください。

# 各部の名称



# 各部の名称



# メータの見かた、使いかた

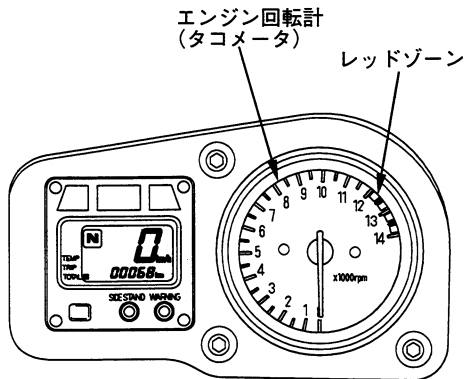
## 計器類

エンジン回転計(タコメータ)  
エンジンの回転数を示します。

エンジン回転数がレッドゾーンに入らないようにしてください。

### 🏍️ アドバイス

- 空吹きし及び1速2速ギヤ位置での急加速はレッドゾーンに入りやすいので特に注意してください。  
レッドゾーンとはエンジンの限界回転域を示したものです。レッドゾーン以上で使用するとエンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を与えるだけでなく、最悪の場合エンジンがこわれます。



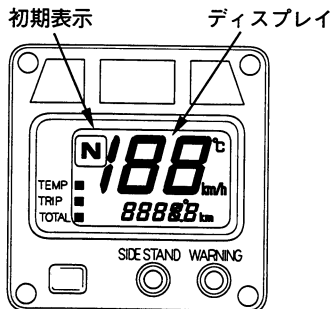
# メータの見かた、使いかた

## ディスプレイ

### 《初期表示》

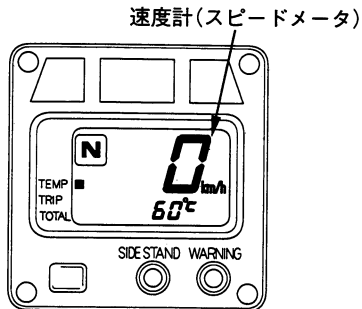
PGMメモリーカードをカードリーダーに挿入すると、ディスプレイに数秒間すべての表示があらわれます。挿入のしかたは、29ページ参照。

このとき表示されない部分がある場合は、お買い上げのホンダ販売店で点検を受けてください。



### 速度計(スピードメータ)

走行中の速度を示します。法定速度を守り安全走行してください。





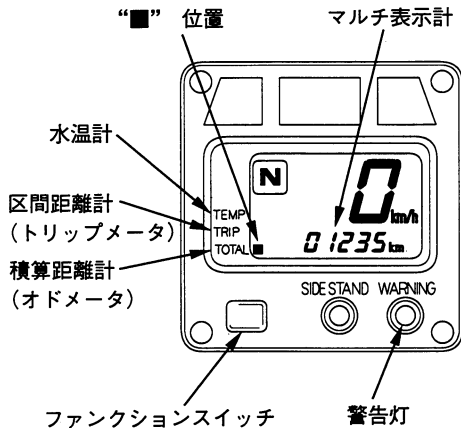
## マルチ表示計

水温計、区間距離計(トリップメータ)、積算距離計(オドメータ)の表示をします。ファンクションスイッチを押すと表示が切替わります。

切替えた内容は、“■”の位置で確認できます。また、車の異常時には警告灯の点灯と共に、警告内容が点滅表示されます。

警告内容については、21 ページ参照。

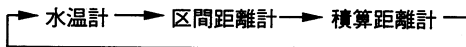
安全運転に支障をきたすおそれがありますので走行中はファンクションスイッチの操作は行わないでください。



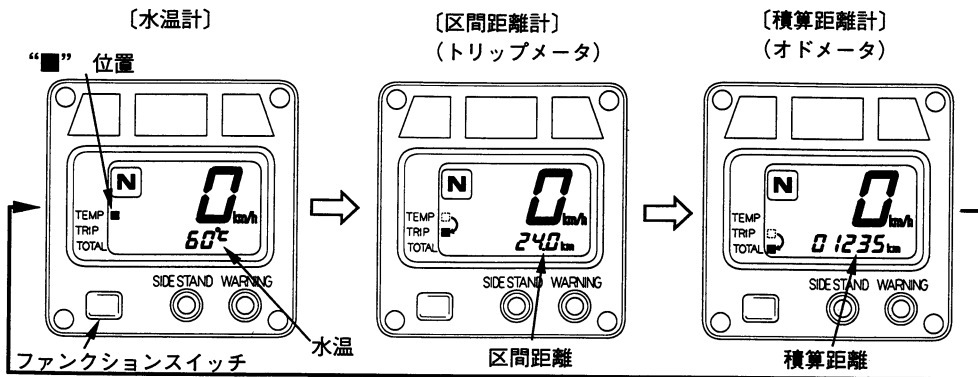
# メータの見かた、使いかた

## [マルチ表示計の切換え]

ファンクションスイッチを押すと、表示が順に切替わります。



切替えた内容は、“■”の位置で確認できます。



## [水温計]

エンジン冷却水の温度を示します。

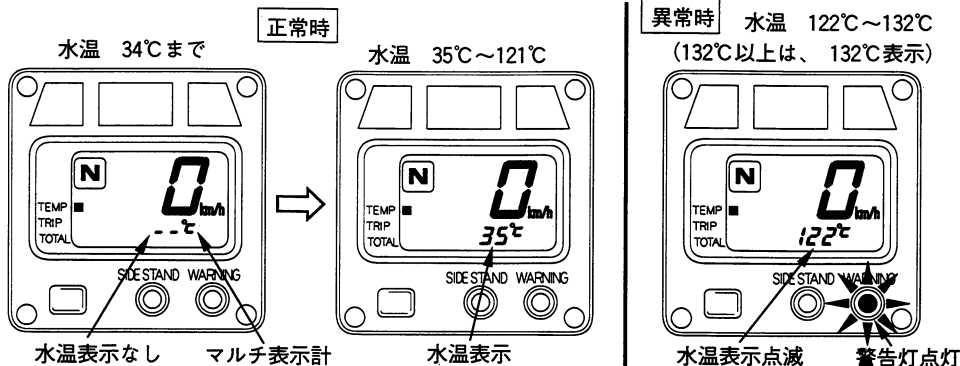
水温は、35℃から表示が始まり132℃まで表示します。(34℃以下は表示しません。)

走行中に警告灯が点灯したら、速やかに安全な場所に停車してください。

処置手順は、110ページを参照してください。

## 知識

- 水温が100℃以上になる場合がありますが、沸騰温度をラジエータキャップにより高めているため異常ではありません。
- 高温下での長時間にわたるアイドリングにより、警告灯が点灯する場合があります。この場合は、走行してエンジンを冷やすか、エンジンが冷えるまで停止してください。



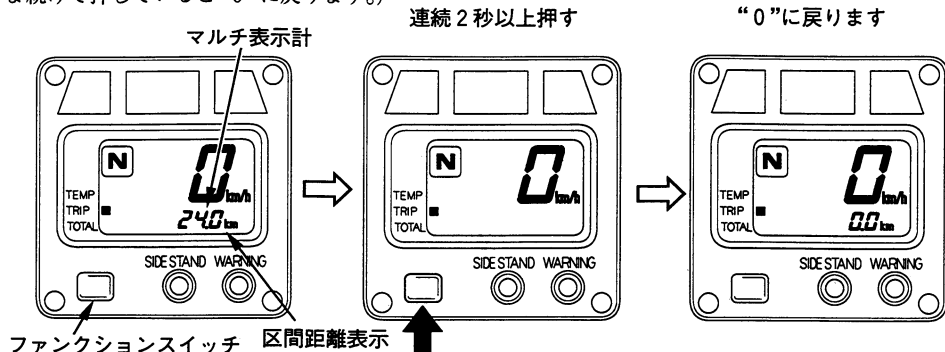
# メータの見かた、使いかた

## [区間距離計(トリップメータ)]

表示を“0”に戻した時点からの走行距離を km の単位で示します。

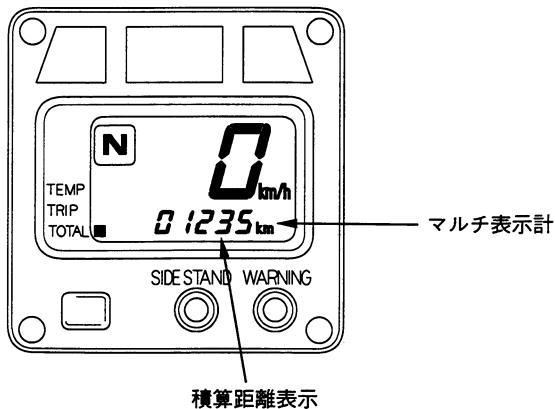
“0”に戻すときは、ファンクションスイッチを2秒以上続けて押します。

(表示が水温計、区間距離計、積算距離計のどの位置にあっても、ファンクションスイッチを2秒以上続けて押すと区間距離計の表示になり、そのまま続けて押していると“0”に戻ります。)



[積算距離計(オドメータ)]

走行した総距離を km の単位で示します。



# メータの見かた、使いかた

## 警告灯・表示灯

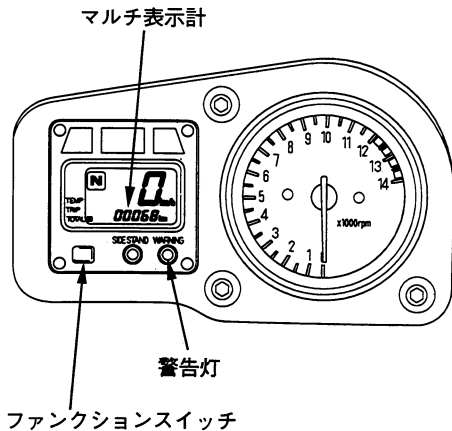
### 警告灯

車の異常時に点灯します。

警告内容は、マルチ表示計に点滅表示されます。

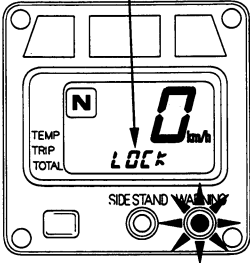
警告内容については、21 ページ参照。

警告表示中でもファンクションスイッチを押すと、水温計、区間距離計、積算距離計のいずれかが5秒間表示されます。

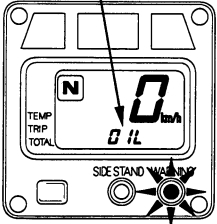


### 《警告内容の表示について》

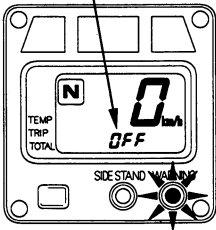
車の異常時には警告灯点灯とともに、マルチ表示計に警告内容が点滅表示されます。

マルチ表示計の警告表示	警告内容	対処方法
<p>“LOCK”表示点滅</p> 	<p>ハンドルロックが解除 されていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ハンドルを左右に軽く動かします。</li><li>● PGMメモリーカードを挿入し直します。</li></ul>

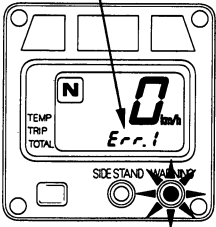
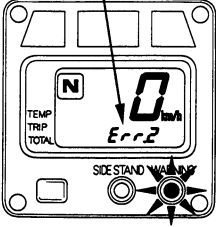
## メータの見かた、使いかた

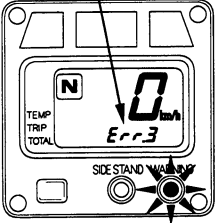
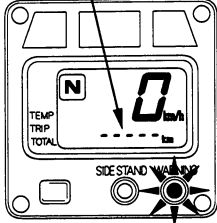
マルチ表示計の警告表示	警告内容	対処方法
<p data-bbox="128 253 378 284">“OIL” 表示点滅</p> 	<p data-bbox="477 372 778 440">オイルタンク内のオイルが少なくなっています。</p>	<p data-bbox="837 181 1332 284">できるだけ早目に、指定オイル(ホンダウルトラGR2)を補給してください。(59ページ参照)</p> <p data-bbox="837 305 1048 336"><b>🏍️ アドバイス</b></p> <ul data-bbox="837 336 1332 673" style="list-style-type: none"><li>● オイルは切らさないでください。オイル表示が点滅したまま走行するとオイルが切れエンジンがこわれます。</li><li>● PGMメモリーカードを挿入した状態で、オイル警告が表示されているときはオイルが少なくなっています。早めに指定オイルを補給してください。走行中オイル警告が表示された場合も早めに指定オイルを補給してください。</li></ul>



マルチ表示計の警告表示	警告内容	対処方法
<p data-bbox="164 170 416 199">“OFF” 表示点滅</p>  <p>The diagram shows a motorcycle instrument cluster. At the top, there are three rectangular gauges. Below them is a central digital display showing 'N' in a box on the left, a gear indicator '0' in the middle, and 'OFF' at the bottom. To the left of the display are the labels 'TEMP', 'TRIP', and 'TOTAL'. Below the display is a 'SIDE STAND WARNING' indicator, which is a circular light with a starburst pattern, currently illuminated.</p>	<p data-bbox="513 301 816 405">エンジンストップスイッチが“OFF”になっています。</p>	<p data-bbox="875 301 1365 363">エンジンを始動するときは、エンジンストップスイッチを“RUN”にします。</p>

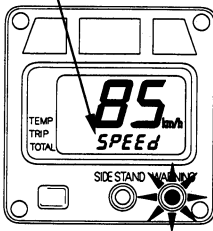
# メータの見かた、使いかた

マルチ表示計の警告表示	警告内容	対処方法
<p>“Err.1” 表示点滅</p> 	<p>充電システムの異常です。</p>	<p>ただちにお買い上げのホンダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>(万一運転中に点灯した場合は、高速走行を避けてただちにホンダ販売店で点検を受けてください。)</p>
<p>“Err.2” 表示点滅</p> 	<p>RCバルブ(排気ポートのコントロールバルブ)がロックしています。</p>	<p>ただちにお買い上げのホンダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>(万一運転中に点灯した場合は、高速走行を避けてただちにホンダ販売店で点検を受けてください。)</p>

マルチ表示計の警告表示	警告内容	対処方法
<p>“Err.3” 表示点滅</p> 	<p>スロットルセンサー (アクセル開度検出装置) の異常です。</p>	<p>ただちにお買い上げのホンダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>(万一運転中に点灯した場合は、高速走行を避けてただちにホンダ販売店で点検を受けてください。)</p>
<p>“.....” 表示点滅</p> 	<p>積算距離計(オドメータ) のデータ異常です。</p>	<p>お買い上げのホンダ販売店で点検を受けてください。</p> <p>(走行後積算距離の表示があるときは、走行には支障ありませんがお買い上げのホンダ販売店へご相談ください。)</p>

# メータの見かた、使いかた

[速度警告用PGMメモリーカード装着車のみ]

マルチ表示計の警告表示	警告内容
<p data-bbox="101 274 414 305">“S P E E d” 表示点滅</p> 	<p data-bbox="669 378 1092 445">速度計(スピードメータ)の表示が 85 km/h以上になると表示します。</p>

### 方向指示器表示灯

方向指示器が点滅しているときに点滅します。非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)を使用しているときは、左右の表示灯が同時に点滅します。

### 前照灯上向き表示灯(ハイビームパイロットランプ)

照射角が上向き的时候会点灯します。

### ニュートラル表示灯

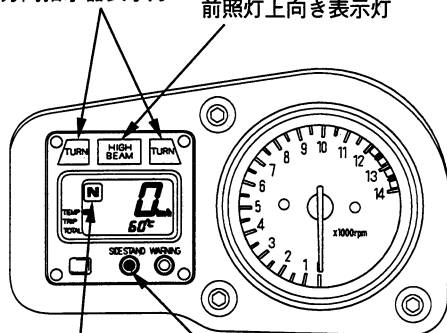
PGMメモリーカードを挿入した状態でチェンジがニュートラルの位置にあるとき点灯します。

### サイドスタンド表示灯

PGMメモリーカードを挿入した状態でサイドスタンドが使用状態のとき点灯します。

### 方向指示器表示灯

### 前照灯上向き表示灯



### サイドスタンド表示灯

### ニュートラル表示灯

# スイッチの使いかた

## PGMメモリーカードシステム

PGMメモリーカードにより、電気回路の断続を行います。

- PGMメモリーカードについては、31ページ参照。
- ハンドルロックについては、42ページ参照。

PGMメモリーカード	作用	ハンドルロック
挿入 (IGNITION ON)	始動・走行	できない (常に解除)
抜き取る (IGNITION OFF)	停止 (電気回路をすべて遮断する)	できる

- 車をはなれるときは、PGMメモリーカードを抜き取り、必ずハンドルロックをかけてください。

前照灯(ヘッドライト)・ポジションランプについて

前照灯(ヘッドライト)は、自動点灯システムを採用しています。

PGMメモリーカード挿入後、キックスタータペダルをキックすることにより点灯します。

(エンジンが始動しなくても前照灯(ヘッドライト)は点灯します。)

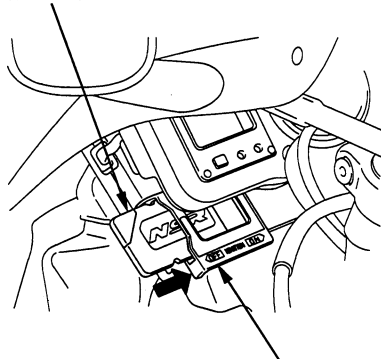
また、PGMメモリーカードを抜き取ることにより消灯します。

ポジションランプ、尾灯(テールランプ)は、PGMメモリーカードを挿入すると点灯し、抜き取ると消灯します。

《挿入のしかた》 (ON)

PGMメモリーカードをカードリーダーに最後まで挿入します。(カチッとロックされます。)

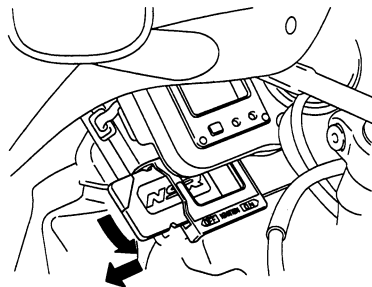
PGMメモリーカード



カードリーダー

《抜きかた》 (OFF)

PGMメモリーカードの左端を下げて抜き取ります。



## スイッチの使いかた

PGMメモリーカードシステムの取扱いには、次の項目をお守りください。

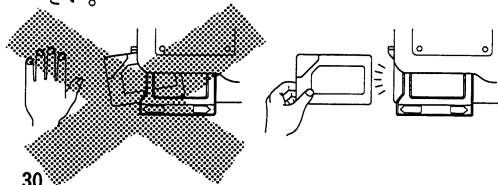
- PGMメモリーカードは、スプリングでカチッとロックされるまで挿入してください。完全に挿入されないまま走行すると、PGMメモリーカードの脱落の原因となります。

また、抜くときは完全に抜いてください。

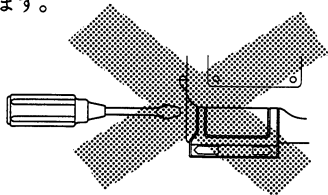
途中で止めたままにすると、PGMメモリーカードの脱落や抜き忘れの原因となります。

- 走行中はPGMメモリーカードを抜き取らないでください。PGMメモリーカードを抜き取ると電気系統は作動しません。

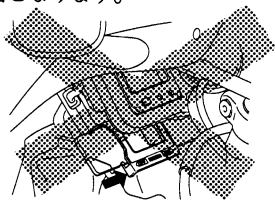
走行中にPGMメモリーカードを抜き取ると、電源がOFFになるなど安全運転に支障をきたしますので、必ず停車してから抜き取ってください。



- カードリーダーには、PGMメモリーカード以外のものは差し込まないでください。PGMメモリーカードシステムが故障する原因となります。



- PGMメモリーカードを裏返しにして挿入しないでください。裏返しに挿入しても電流が流れ、バッテリー上がりの原因となります。

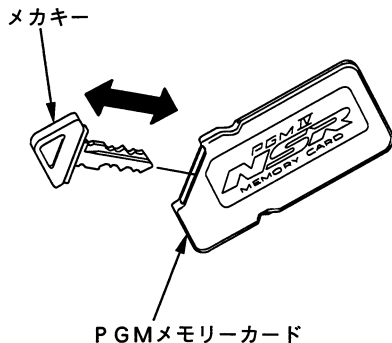




## PGMメモリーカード

PGMメモリーカードには、燃料タンクキャップ、ヘルメットホルダ、シートバックを開けるための専用のメカキーがついています。メカキーは、PGMメモリーカードに常時つけておいてください。またPGMメモリーカードは電子部品ですので、取扱いには十分注意してください。

PGMメモリーカードを紛失したときは、シリアルナンバー(108ページ参照)とともにお買い上げのホンダ販売店へご連絡ください。



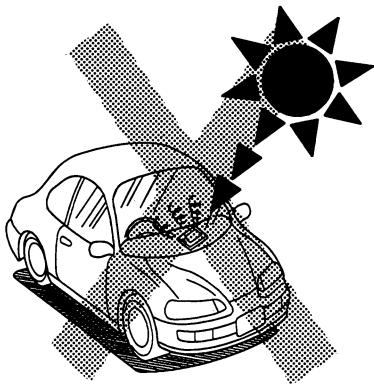
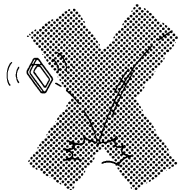
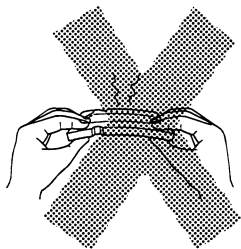
## スイッチの使いかた

---

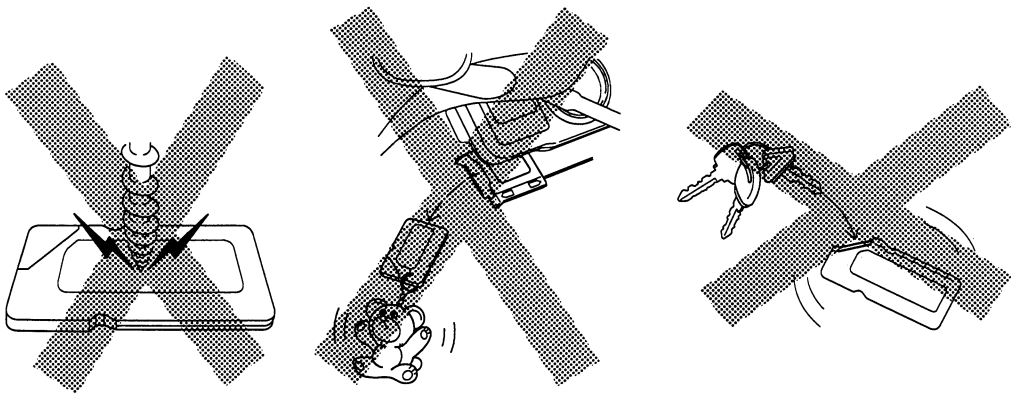
PGMメモリーカードの取扱いには、次の項目をお守りください。

- 曲げたり、衝撃を与えたりしないでください。  
メモリーカード破損の原因となります。

- 直射日光にさらしたり、高温下で放置したりしないでください。  
メモリーカード変形やデータ異常の原因となります。



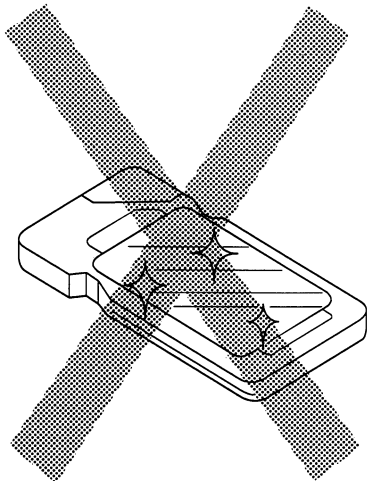
- 穴等を開けないでください。  
PGMメモリーカードシステム、メモリーカード及びデータ破壊の原因となります。  
また、物をつける等の改造はしないでください。  
カード脱落、紛失の原因となります。



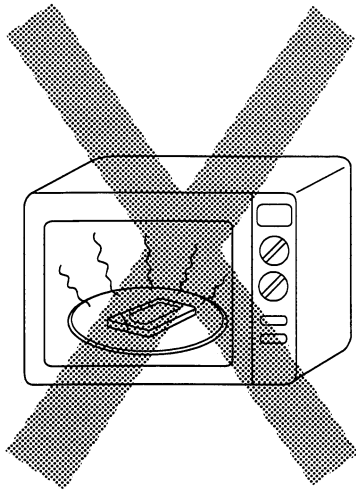
## スイッチの使いかた

---

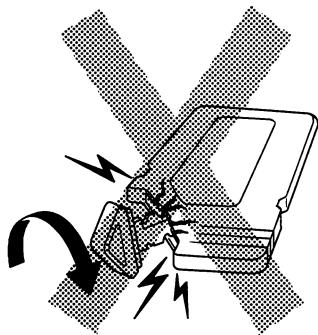
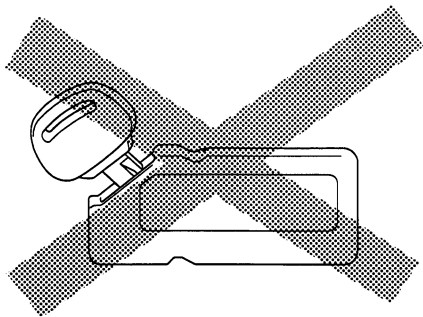
- シール等を貼らないでください。  
金属シール等を貼るとメモリーカード通信不良の原因となります。



- 強い磁気を帯びた場所に置かないでください。  
データ異常の原因となります。



- メカキーはメモリーカードに常時つけておいてください。  
メカキー以外のキーをつけるとメモリーカードがカードリーダーに入りません。  
また、メカキー以外のものをメモリーカードにつけたり、メカキーをこじったりしないでください。  
メモリーカード破損、脱落の原因となります。



# スイッチの使いかた

## 前照灯上下切換えスイッチ (ヘッドライト上下切換えスイッチ)

### 《前照灯(ヘッドライト)の上下切換え》

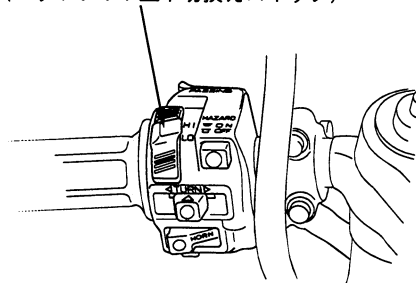
前照灯上下切換えスイッチを押して行います。

H I ……前照灯(ヘッドライト)が上向き

L O ……前照灯(ヘッドライト)が下向き

昼間は、下向き(ロービーム)に点灯しましょう。

## 前照灯上下切換えスイッチ (ヘッドライト上下切換えスイッチ)



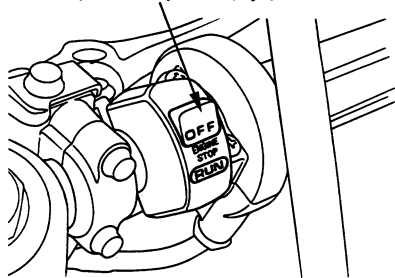
## エンジンストップスイッチ

エンジンストップスイッチは、転倒など非常の場合に、手もとですぐにエンジンを止めるために設けたものです。

通常は“RUN”の位置にしておいてください。  
“OFF”の位置ではエンジンはかかりません。

エンジンストップスイッチは非常の場合以外は使用しないでください。走行中にエンジンストップスイッチをRUN→OFF→RUNにすると、エンジン回転が不円滑となり、走行不安定の原因となります。またエンジンにも悪影響をおよぼすおそれがあります。

エンジンストップスイッチ



### アドバイス

- 非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止した場合、忘れずにPGMメモリーカードを抜いてください。挿入したままにしておくと、バッテリーあがりの原因となります。

# スイッチの使いかた

## ホーンスイッチ

PGMメモリーカードが挿入状態のとき、ホーンスイッチを押すとホーンが鳴ります。

## パッシングライトスイッチ

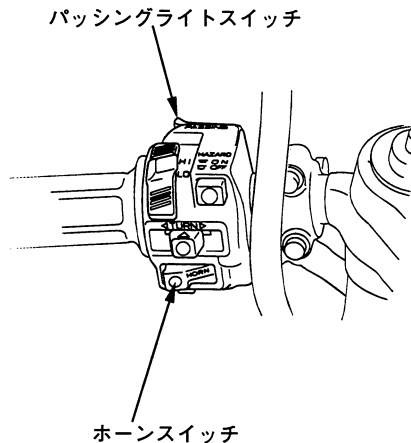
追越しのときに、自車の存在を知らせるためのものです。

### 《使いかた》

パッシングライトスイッチを押して行います。

### 🏠 知識

- 前照灯上下切換えスイッチが上向きときは作動しません。





## 方向指示器スイッチ

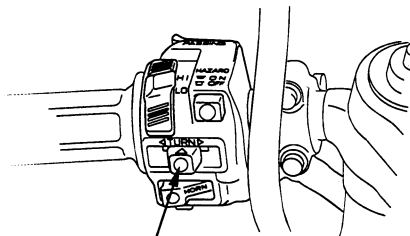
右左折する時や、進路変更する場合には方向指示器で合図します。

《使いかた》

PGMメモリーカードを挿入してスイッチを入れると、方向指示器が作動します。

解除は、方向指示器スイッチを押して行います。

- ▶ ……右折
- ◀ ……左折



方向指示器スイッチ

### 知識

- 方向指示器スイッチは、自動的に解除しません。使用後は、必ず解除してください。つけたままにしておくと他の方に迷惑となります。
- 電球(バルブ)は、正規のワット数以外のものを使用しますと、方向指示器が正常に作動なくなります。必ず正規のワット数のものを使用してください。

# スイッチの使いかた

## 非常駐車灯スイッチ (ハザードスイッチ)

スイッチを入れると、すべての方向指示器のランプが点滅します。

故障等で、やむを得ず路上に駐車するときに使用します。非常時にのみ使用してください。

### 《使いかた》

P G Mメモリーカードを挿入して、非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)を押すと、すべての方向指示器のランプが点滅します。

解除は、非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)をもう一回押します。

### 🏠 知識

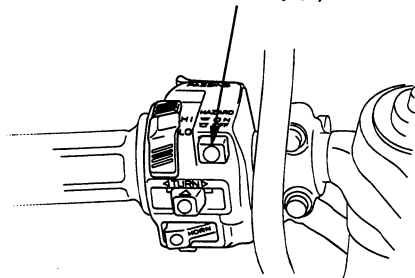
- エンジンがかかっていないときに、非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)を使用する場合は、バッテリー保護のため前照灯(ヘッドライト)を消灯してください。

(前照灯の消灯はP G Mメモリーカードを抜き、再度挿入して行います。)

### 🏠 知識

- 完全充電のバッテリーでも前照灯(ヘッドライト)点灯時は約5分、消灯時は約25分以上使用するとバッテリーがあがります。

非常駐車灯スイッチ  
(ハザードスイッチ)



# 装備の使いかた

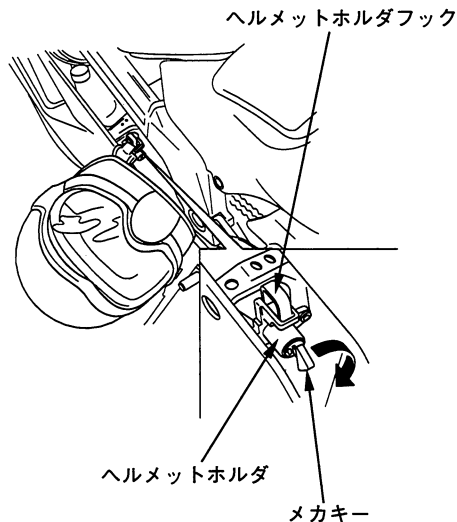
## ヘルメットホルダ

ヘルメットホルダは、駐車時のみに使用するものです。

走行時に使用すると、ヘルメットが運転を妨げたり、車体に損傷を与えることがあります。また、ヘルメットに損傷を与え保護機能を低下させます。

### 《使いかた》

1. メカキーをヘルメットホルダに差し込み、右にまわしてヘルメットホルダのロックを解除します。
2. ホルダフックに、ヘルメットの金具をかけます。
3. メカキーを左に回してロックし、メカキーを抜きます。



# 装備の使いかた

---

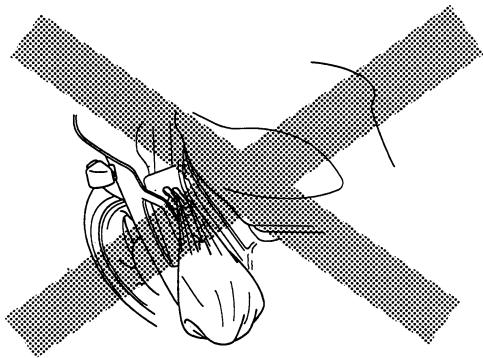
## ハンドルロック

盗難予防のため、駐車するときは必ずハンドルロックをかけましょう。

チェーンロック等のご使用もおすすめします。

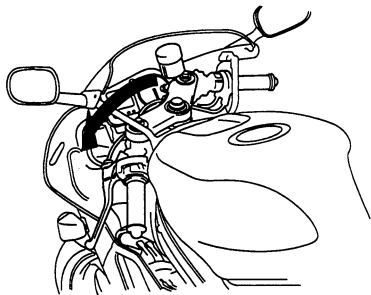
ハンドルロックレバー、チョークレバーに荷物等をかけないでください。

走行に支障をきたすだけでなく、作動不良の原因となります。



### 《かけかた》

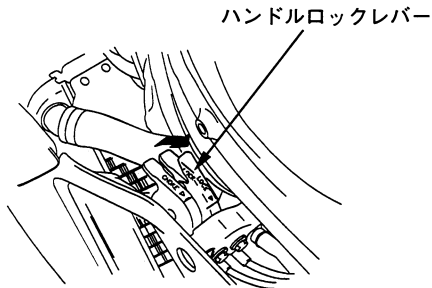
1. ハンドルを左いっぱいに切ります。
2. PGMメモリーカードを抜き取ります。



3. ハンドルロックレバーを「カシャン」と音がするまで引きます。  
(ハンドルを左いっぱいに切ってもロックできないときは、少しハンドルを戻してからロックレバーを引いてください。)  
ハンドルが確実にロックされているか、ハンドルを軽く左右に動かして確認してください。

### 知識

- 交通のじゃまにならない安全な場所を選んで駐車しましょう。



## 装備の使いかた

### 〈外しかた〉

- PGMメモリーカードを挿入します。

PGMメモリーカードを挿入することによって、ハンドルロックの外しと、電気回路の接続が自動的に行われます。

- 駐車の状態によってはハンドルロックが外れない場合があります。（“LOCK”の警告が点滅します。）

この場合、ハンドルを軽く左右に動かすか、PGMメモリーカードを挿入し直すと外れます。

※“LOCK”警告が点滅中にPGMメモリーカードを抜いても、一定時間表示が続きます。

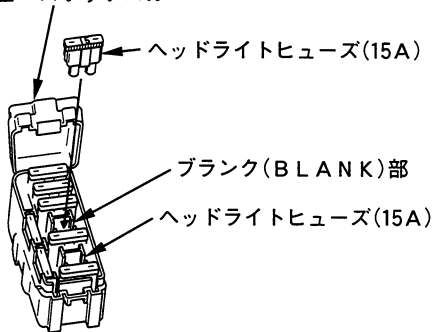
### 知識

- ハンドルロックは、PGMメモリーカードが挿入状態ではかけることができません。PGMメモリーカードを抜いた状態でのみかけることができます。
- ハンドルロックは、バッテリーがあがると外れないことがあります。バッテリーを充電してから外してください。バッテリーを充電せずにハンドルロックを外す必要のあるときは、45ページを参照してください。

《バッテリーがあがったときのハンドルロックの外しかた》

1. PGMメモリーカードを抜きます。
2. フロントシートを除外します。  
(51ページ参照)
3. ヒューズボックスカバーを開け、ヘッドライトヒューズ(15A)をブランク(B L A N K)部へ差し込みます。

ヒューズボックスカバー



4. PGMメモリーカードを挿入します。
5. チェンジをニュートラルにします。  
(車体を前後に動かして、確認してください。)
6. スロットルグリップを回さずに(完全に戻した状態)、キックスタータペダルをキックすると外れます。
7. ハンドルロックが外れたら、PGMメモリーカードを抜いてヒューズを元の位置へ戻します。
8. ヒューズボックスカバーを閉じ、フロントシートを取付けます。

- この作業を行ってもハンドルロックが外れない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

## 装備の使いかた

### フロントクッションの調整〈NSR250R〉

フロントクッションの強さは、走行条件、ライダーの体重や好みに応じて調整してください。

調整は、マイナス⊖ドライバーでアジャスタを回し、アジャスタの高さを変えて行います。

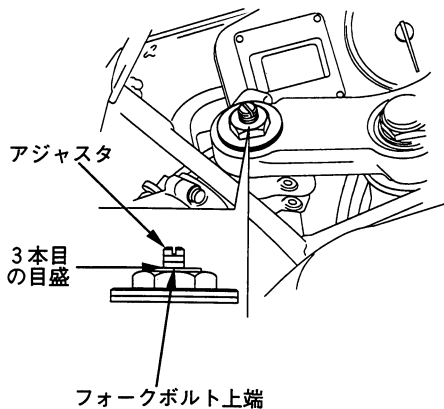
アジャスタの高さを低くすると強くなり、高くすると弱くなります。

標準は、アジャスタの上から3本目の目盛がフォークボルト上端に合う位置です。

左右の強さは、必ず同じにしてください。

#### アドバイス

- アジャスタは、無理に回さないでください。





## 《NSR250R SE》

フロントクッションは、スプリングのプリロードと伸び側(TEN)減衰力が調整できます。体重や路面の状態などに応じて調整してください。左右の強さは、必ず同じにしてください。

### 《プリロード調整のしかた》

調整は、スパナでプリロードアジャスタを回し、アジャスタの高さを変えて行います。

アジャスタの高さを低くすると強くなり、高くすると弱くなります。

標準は、アジャスタの上から3本目の目盛がフォークボルト上端に合う位置です。

### 《減衰力調整のしかた》

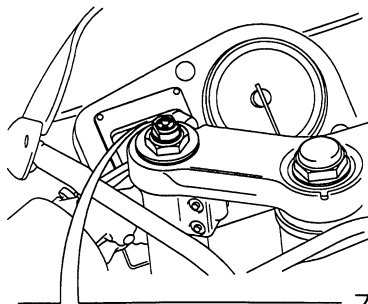
調整は、マイナス⊖ドライブで減衰力アジャスタを回し、各クリックの位置に合せます。

減衰力は、アジャスタをH側(右回り)に回すと強く、S側(左回り)に回すと弱くなります。

標準は、アジャスタをH側に止まるまで回し、この位置のクリックを含めS側に7クリック目です。

## 🏍️ アドバイス

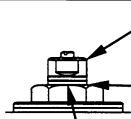
- アジャスタは、無理に回さないでください。



プリロード  
アジャスタ



減衰力  
アジャスタ



3本目  
の目盛

フォークボルト上端

# 装備の使いかた

## 〈NSR250R SP〉

フロントクッションは、スプリングのプリロードと伸び側(TEN)減衰力が調整できます。体重や路面の状態などに応じて調整してください。

左右の強さは、必ず同じにしてください。

### 〈プリロード調整のしかた〉

調整は、スパナでプリロードアジャスタを回し、アジャスタの高さを変えて行います。

アジャスタの高さを低くすると強くなり、高くすると弱くなります。

標準は、アジャスタの上から4本目の目盛がフォークボルト上端に合う位置です。

### 〈減衰力調整のしかた〉

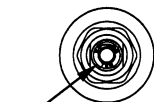
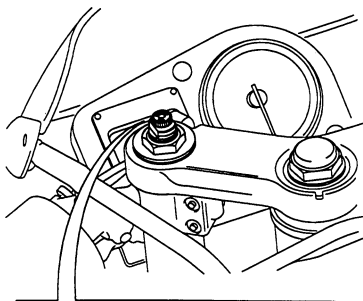
調整は、手で減衰力アジャスタを回し、各クリックの位置に合わせます。

減衰力は、アジャスタをH側(右回り)に回すと強く、S側(左回り)に回すと弱くなります。

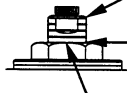
標準は、アジャスタをH側に止まるまで回し、この位置のクリックを含めS側に7クリック目です。

### 🏍️ アドバイス

- アジャスタは、無理に回さないでください。
- 減衰力の調整は、必ず手で行ってください。



減衰力  
アジャスタ



フォークボルト上端

プリロード  
アジャスタ

4本目  
の目盛

## リヤクッションの調整 《NSR250R SP, NSR250R SEのみ》

リヤクッションは伸び側(TEN)減衰力と縮み側(COMP)減衰力をそれぞれ単独に調整できます。走行条件、ライダーの体重や好みに応じて調整してください。

### 《調整のしかた》

伸び側減衰力調整はリヤクッション本体のアジャスタで行い、縮み側減衰力調整はリザーバタンクのアジャスタで行います。

減衰力はアジャスタをH側(右回り)に回すと強く、S側(左回り)に回すと弱くなります。

### 《標準》

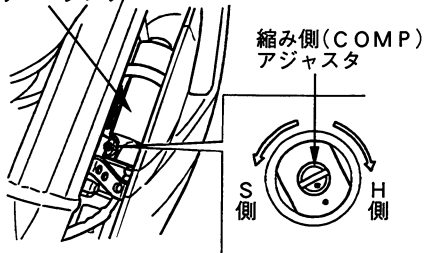
縮み側(COMP)の標準は、アジャスタをH側に止まるまで回した後、S側に約1.5回転戻しポンチマークが合う位置です。

伸び側(TEN)の標準は、アジャスタをH側に止まるまで回した後、S側に約1回転戻しポンチマークが合う位置です。

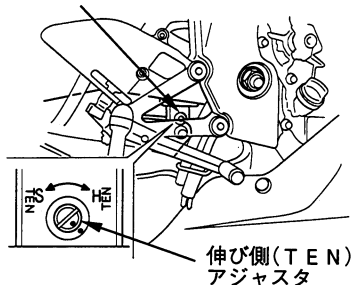
### 🏍️ アドバイス

- アジャスタは、無理に回さないでください。

リザーバタンク



リヤクッション下部の右側



# 装備の使いかた

## ブレーキレバーの距離調整

ブレーキレバーには、ハンドルグリップからの距離を微調整できるアジャスタが装備されています。

### 《調整範囲》

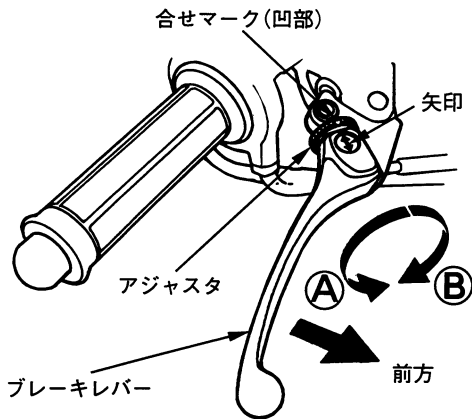
ブレーキレバーを前方に押し、レバーのガタを調べます。アジャスタを①方向に回し、レバーのガタをなくします。

このときのアジャスタ位置から、アジャスタを②方向に回し止まる位置までが、調整可能な範囲です。

### 《調整のしかた》

アジャスタを手で回し、調整範囲内で合せマーク(凹部)を矢印(手ごたえのある位置)に合せます。

調整範囲を越えてアジャスタを回さないでください。



## シート

フロントシート、シートバックの取付け、取外しは、次の要領で行ってください。

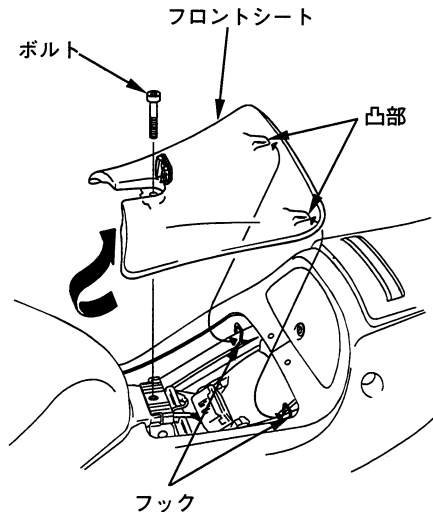
### フロントシート

#### 《取外し》

1. シート前方のボルトを外します。
2. シートを前方へずらしながら持ち上げて取外します。

#### 《取付け》

1. シートの凸部をフレームのフックに差し込みます。
2. シート前方をボルトでしっかりと締付けます。



## 装備の使いかた

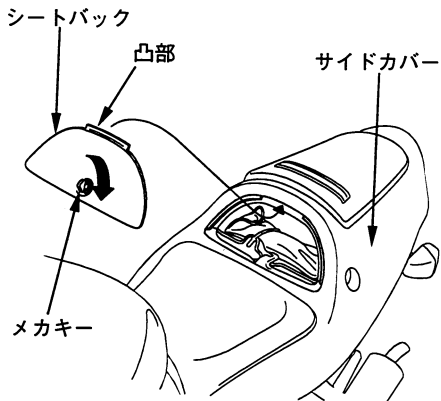
### シートバック

#### 《取外し》

1. メカキーを差し込み、右に回したままシートバック下側を前方に引き出し取外します。

#### 《取付け》

1. メカキーを差し込み、シートバックの凸部をサイドカバーにセットし、メカキーを右に回したまま取付けます。
2. メカキーを抜き取ります。



## 書類・小物入れ

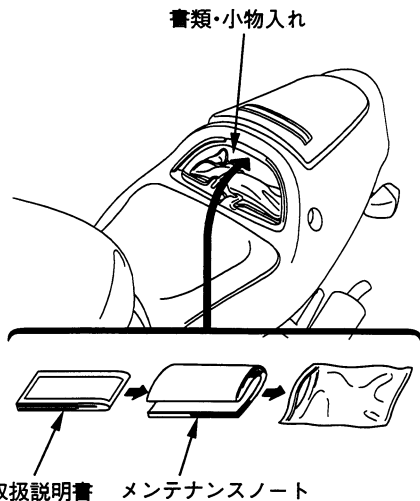
シートバックを取外すと、シート後方に書類・小物入れがあります。取扱説明書やメンテナンスノートなどは、ビニール袋に入れ、ここに格納してください。

書類・小物入れの最大積載重量は、2 kg以下です。

- シートバックの取外しかたは、52 ページを参照してください。

### 知 識

- 洗車時、シートバック付近から強く水をかけないでください。内部に水が入り書類等がぬれることがあります。

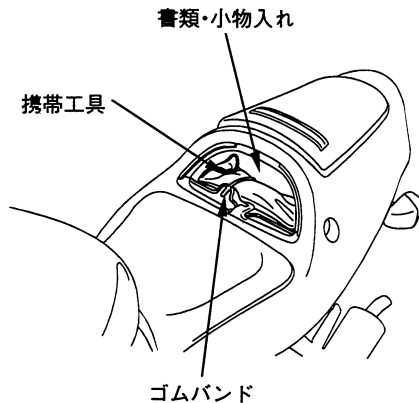


# 装備の使いかた

## 携帯工具入れ

シートバックを取外すと、書類・小物入れの手前に携帯工具入れがあります。携帯工具は、ここに格納してください。格納後は、ゴムバンドでしっかりと固定してください。

- シートバックの取外しかたは、52 ページを参照してください。





## サイドカバー

エンジン停止直後は、エンジン本体、エキゾーストパイプ、マフラなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

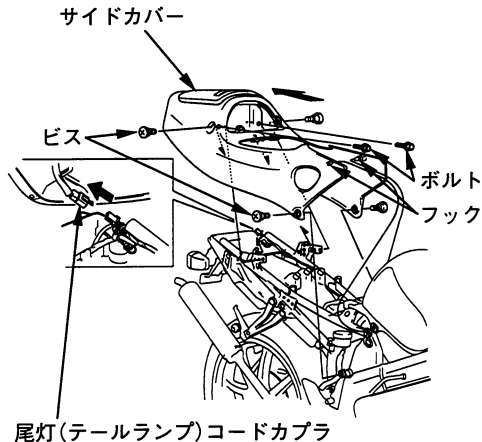
左右のサイドカバーは後部で継がっていますので取外すときは、次の要領で行ってください。

### 《取外し》

1. フロントシートを取外します。  
( 51 ページ参照)
2. シートバックを取外します。
3. 左右のビス4本と小物入れ内のボルト2本を外し、フックを外します。
4. カバー後側を少し持ち上げ、尾灯(テールランプ)コードカプラの接続を外します。
5. 左右のカバーの前部を少し開きながら、後方を上げ、カバーを取外します。

### 《取付け》

- 取付けは、取外しの逆手順で行います。



# 装備の使いかた

## メンテナンスリッド

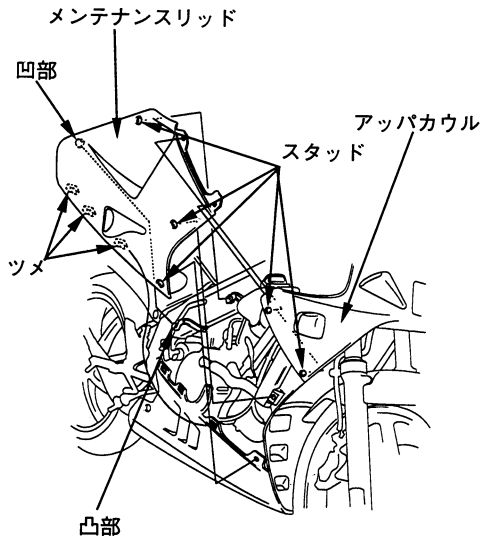
エンジン停止直後は、エンジンなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

### 《取外し》

1. スタッドを 90° 左に回しロックを外します。
2. スタッドを取付け側より浮かせます。
3. メンテナンスリッドを後方にずらしツメ、凸部を外します。
4. メンテナンスリッドを取外します。

### 《取付け》

1. メンテナンスリッドの上部をアッパカウルに合わせます。
2. ツメを差し込み、凹部を凸部に差し込みます。
3. スタッドの位置を合わせます。
4. スタッドを右に回し、ロックします。



# 燃料とエンジンオイルの補給

## 燃料の補給

### 〈使用燃料〉

無鉛ガソリン

ガソリンの補給は、必ずエンジンを止め、火気厳禁で行ってください。

### 警告

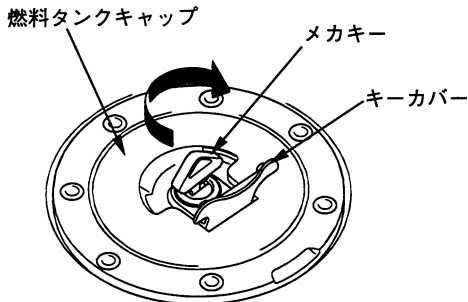
ガソリンは、燃えやすくヤケドを負ったり、爆発して重大な傷害に至る可能性があります。

ガソリンを取扱う場合は、

- エンジンを止めてください。また、裸火、火花、熱源などの火元を遠ざけてください。
- 燃料補給は、必ず屋外で行ってください。
- こぼれたガソリンは、すぐに拭き取ってください。

### 〈補給のしかた〉

1. キーカバーを開け、メカキーを差し込み、右に回して燃料タンクキャップを開けます。

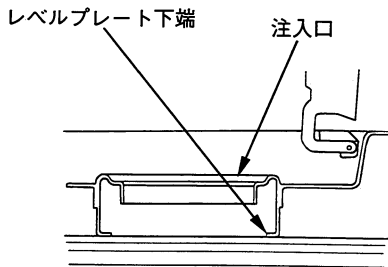


# 燃料とエンジンオイルの補給

2. ガソリンを注入口の下側にあるレベルプレート下端まで入れます。

ガソリンをレベルプレート下端以上に入れると、燃料タンクキャップのブリーザ孔からガソリンがにじみ出ることがあります。

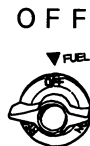
3. 燃料タンクキャップを手で確実に押して閉じ、メカキーを抜きます。



## 燃料コック

レバーの矢印が燃料コックの状態を示します。

- ON** ... キャブレターにガソリンが流れます。エンジンを始動するときはこの位置にします。
- OFF** ... キャブレターにガソリンが流れません。乗車するとき以外は、この位置にします。
- RES** ... 予備燃料です。“ON”で走行中燃料がなくなったらこの位置にします。早めにガソリンを補給してください。補給後は“ON”に戻してください。戻し忘れると、走行中に予備燃料がなくなり走行できなくなります。  
予備燃料容量：約 2.7ℓ



## エンジンオイルの補給

### 《指定オイル》

ホンダ純正オイル(2サイクル二輪車用)

	J A S O M 345規格
ウルトラGR2	FC

### 🏍️ アドバイス

- この車には、必ずウルトラGR2を使用してください。  
ウルトラGR2は、この車に最も適したオイルです。  
ウルトラGR2以外のオイルを使用すると、本来の性能を発揮できないばかりでなく、エンジンの故障や損傷の原因となります。

### 🏠 知識

- JASO M 345規格とは、2サイクルエンジンオイルの性能を分類する規格です。  
なお、規格に適合し届け出されたオイルの容器には、次の表示があります。



上段:オイル販売会社の  
整理番号

下段:性能分類の表示  
FC性能であることを  
示しています

JASO M 345適合品  
本FC性能の品質保証者

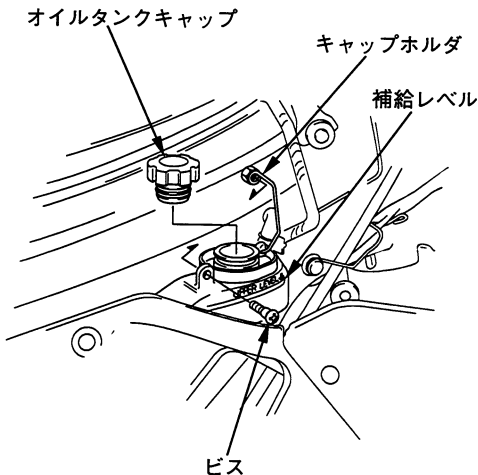
## 燃料とエンジンオイルの補給

### 《補給のしかた》

1. 平坦地でスタンドを立て、PGMメモリーカードを抜きます。
2. ビスを外し、キャップホルダを外します。
3. オイルタンクキャップをおこすように引き抜きます。
4. 車体を垂直にして、オイルを補給レベルまで補給します。

オイルは補給レベル以上に入れないでください。オイルがにじみ出るおそれがあります。

5. オイルタンクキャップを取付けます。  
キャップは、2段モーションになっていますので、押込むと重くなる場所があります。この位置からもう一度、強く根元まで確実に押込んでください。
6. キャップホルダをセットし、ビスで締め付けます。



# 正しい運転操作

## エンジンのかけかた

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンは、風通しの良い場所でかけてください。

エンジン始動は、62 - 63 ページの「始動手順」に従って行ってください。

### アドバイス

- 無用の空ふかしはしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジンに悪影響を与えます。
- 交差点などで停車しているとき、スナッピングはしないでください。周囲の迷惑になるばかりでなく、プラグかぶりがおこりエンジンがストップすることがあります。

### 知識

- この車には、サイドスタンドを出したままチェンジを入れると、自動的にエンジンが停止するイグニッションカットオフ式サイドスタンドを採用しています。スタートする前に、必ずサイドスタンドを格納してください。

# 正しい運転操作

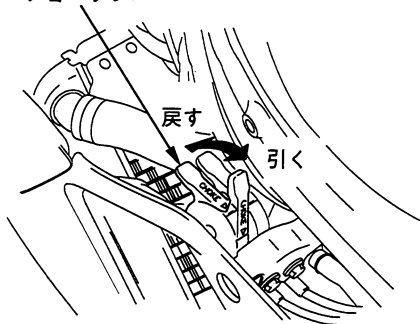
## 《始動手順》

この車のチョークレバーは、“引く”“戻す”のいずれかの位置だけでしか使用できません。ハーフチョークでの使用はできませんので、ご注意ください。

### ●エンジンが冷えているとき

1. エンジンストップスイッチが“RUN”になっていることを確認します。
2. 燃料コックレバーが“ON”になっていることを確認します。
3. PGMメモリーカードを挿入します。
4. チェンジをニュートラルにします。(ニュートラル表示灯で確認してください。)
5. チョークレバーをいっぱいに引きます。
6. スロットルグリップを回さずに(完全に戻した状態)、キックスタータペダルを力強くキックします。

チョークレバー

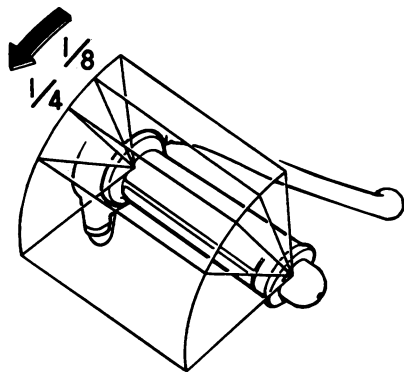


7. エンジンがかかったら、チョークレバーを“引く”の位置で、暖機運転を続けます。エンジンの回転が下がってきたら、チョークレバーを完全に戻します。
8. キックスタータペダル及び、サイドスタンドが確実に格納してあることを確認してからスタートしてください。
  - エンジンがかからないときは、111 ページ記載の要領で確認してください。



● エンジンが暖まっているとき

1. エンジンストップスイッチが“RUN”になっていることを確認します。
2. 燃料コックレバーが“ON”になっていることを確認します。
3. PGMメモリーカードを挿入します。
4. チェンジをニュートラルにします。(ニュートラル表示灯で確認してください。)
5. スロットルグリップを $1/8$ から $1/4$ ほど回し、キックスタータペダルを力強くキックします。
6. キックスタータペダル及び、サイドスタンドが確実に格納してあることを確認してからスタートしてください。



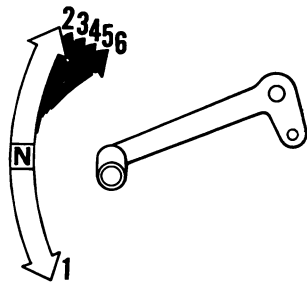
- エンジンがかからないときは、111ページ記載の要領で確認してください。

# 正しい運転操作

## チェンジのしかた

チェンジは、右図のような6段リターン式です。

- 変速は、スロットルグリップを一旦戻して、クラッチレバーを完全に握ってから行います。
- チェンジペダルの操作は、つま先で軽く行い、ペダルにコツンと足ごたえのあるまで確実に操作してください。無理をすると、チェンジ機構を痛める原因となります。



## 走りかた

- 走行前に、サイドスタンドは完全に納まっているか確認してください。
- 車のスピードに応じてギヤを切替えることが必要です。右表は、その速度範囲を示したものです。
- 不必要な急加減速をつつしんで走ることが、燃料の節約と車の寿命をのばします。

### アドバイス

- 走行中に異音や異常を感じたときは、ただちにホンダ販売店で調べましょう。

### 知識

- 発進は、できるだけ静かに行いましょう。
- 法定速度を守って走りましょう。

### 〈慣らし運転〉

最初の1,000 km 走行するまでは、エンジン回転を8,000回転以下で慣らし走行してください。慣らし運転を行うと、車の寿命をのばします。

	速度範囲
1 速	0 ~ 55 km/h
2 速	20 ~ 80 km/h
3 速	30 ~ 100 km/h
4 速	40 ~ 130 km/h
5 速	45 ~ 150 km/h
6 速	55 km/h以上

## 正しい運転操作

---

### 《シフトダウンのしかた》

追い越しするときなど、強力な加速が必要なときは、シフトダウンをすると加速力が得られます。あまり高い速度で行うと、エンジンの回転が上がり過ぎて、エンジン、ミッションに悪影響を与えるだけでなく、最悪の場合エンジン、ミッションがこわれます。右表の速度内で行ってください。

	シフトダウン可能限界速度
6速→5速	150 km/h以下
5速→4速	130 km/h以下
4速→3速	100 km/h以下
3速→2速	80 km/h以下
2速→1速	55 km/h以下

---

## ブレーキの使いかた

- ブレーキは、前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に使いましょう。制動力を効果的に得るためには、前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に使う必要があります。
- 不必要な急ブレーキは避けましょう。急激なブレーキ操作は、タイヤをロックさせ車体の安定性を損なうおそれがあります。
- 雨天走行や路面が濡れている場合、タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。スピードを落として、余裕をもったブレーキ操作をしてください。
- 連続的なブレーキ操作は、ブレーキ部の温度上昇の原因となり、ブレーキの効が悪くなるおそれがありますので避けてください。
- 水たまりを走行した後や雨天走行時には、ブレーキの効き具合が悪くなる場合があります。水たまりを走行した後などは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意し、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認してください。もし、ブレーキの効が悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキのしめりを乾かしてください。

# 正しい運転操作

---

## 《エンジブレーキ》

スロットルグリップをもどすとエンジブレーキがききます。さらにエンジブレーキを必要とするときは5速、4速……とシフトダウンを行ってください。

急激なシフトダウンは、尻振りなどの原因となります。66 ページの表にしたがって行ってください。

長い下り坂、急な下り坂などでは、断続的なブレーキ操作とエンジブレーキを併用してください。

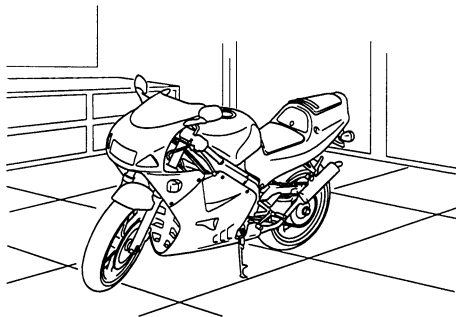
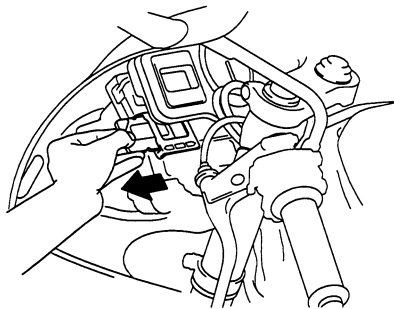
---

—メモ—

## メンテナンスを安全に行うために

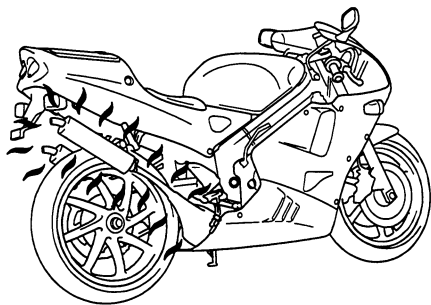
---

- 整備はエンジンを停止しPGMメモリーカードを抜いた状態で行ってください。
- 場所は、平坦地で足場のしっかりした所を選び、スタンドを立てて行ってください。

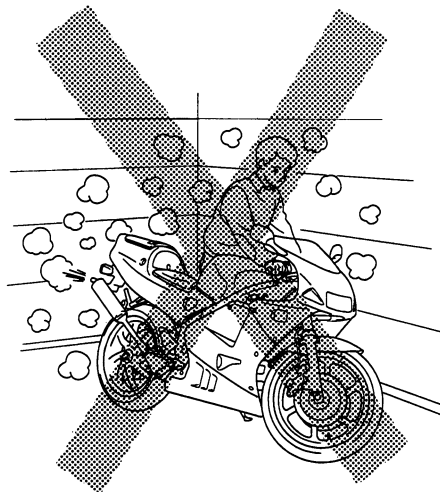




- エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。



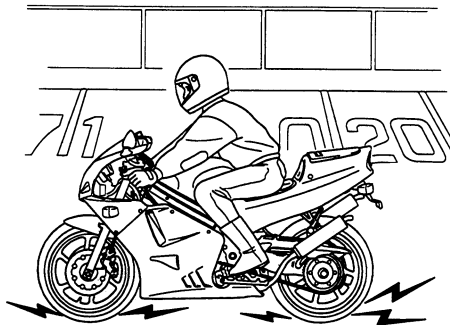
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、風通しの悪い場所でエンジンをかけての点検はやめてください。



## メンテナンスを安全に行うために

---

- 走行して点検する必要があるときは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意して行ってください。
- メンテナンスに工具を必要とするときは、適切な工具を使用してください。



# 日常点検、定期点検、簡単なメンテナンス

お車をご使用の方の安全と車を快適にご使用いただくために、道路運送車両法で1日1回の日常点検と6か月、12か月毎の定期点検整備を行うことが義務づけられています。

安全快適にお乗りいただくために、必ず実施してください。



点検整備の方法を正しく行わないこと、不適切な整備や未修理は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

- 点検整備は、取扱説明書・メンテナンスノートに記載された点検方法・要領を守り、必ず実施してください。
- 異状箇所は乗車前に修理してください。

各点検、メンテナンス等については、以下のページをご覧ください。

1か月目点検について	74
交換部品について	74
日常点検	75
メンテナンス部品配置図	76
定期点検	78
6か月点検項目	79
簡単なメンテナンス	80
ブレーキ	81
タイヤ	85
バッテリー	88
ヒューズ	91
冷却水	93
クラッチ	96
トランスミッション	98
ドライブチェーン	101

# 日常点検、定期点検、簡単なメンテナンス

---

## 1 か月目点検について

新車から1 か月目(または、1,000 km時)は、特に初期の点検整備が車の寿命に影響することを重視し、点検を無料でお取扱いいたします。

お買いあげのホンダ販売店で行ってください。他の販売店にてお受けになると有料となる場合があります。

詳細については、別冊「メンテナンスノート」の14ページをご覧ください。

## 交換部品について

点検整備の結果、部品の交換が必要となった場合は、あなたのお車に最適な“ホンダ純正部品”をご使用ください。

純正部品は、厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。

お求めは、ホンダ販売店にご相談ください。純正部品には、次のマークがついています。

純正部品マーク



# 日常点検

## 日常点検

お車をご使用の方には、1日1回運転する前に点検を行うことが法で定められています。

安全快適にお乗りいただくために、必ず実施してください。

この車に適用される点検項目は、右記「日常点検項目」です。

下線のついている項目については、「簡単なメンテナンス」に説明があります。80 ページ以後を参照してください。

また、点検項目の部位を次ページの「メンテナンス部品配置図」で示します。参照してください。

点検方法・要領は、別冊「メンテナンスノート」の20ページ以後をご覧ください。

## 日常点検項目

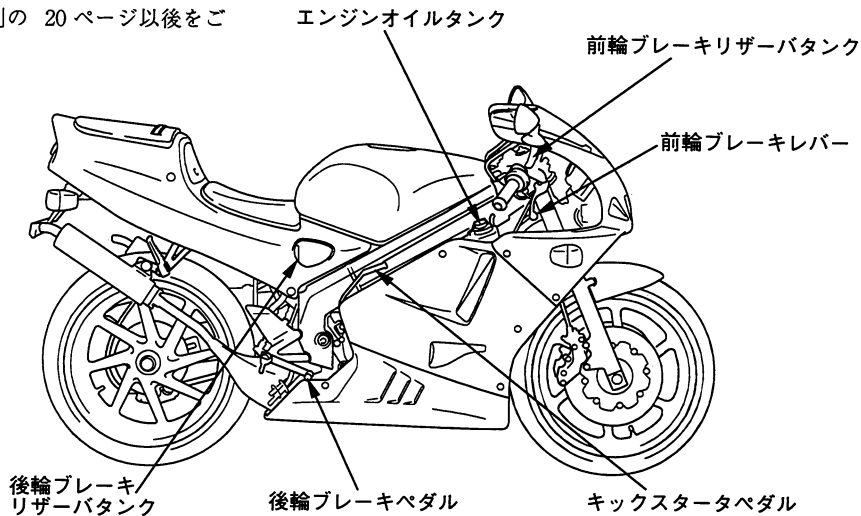
- ブレーキ
  - ・レバーの遊び(油圧式)
  - ・ペダルの遊び(油圧式)
  - ・ブレーキのきき具合
  - ・ブレーキ液の量
- タイヤ
  - ・空気圧
  - ・亀裂、損傷
  - ・異状な摩耗
  - ・溝の深さ(※)
- エンジン
  - ・冷却水の量(※)
  - ・エンジンオイルの量(※)  
(2サイクル車)
  - ・かかり具合、異音(※)
  - ・低速、加速の状態(※)
- 灯火装置及び方向指示器
- 前日の運行において異状が認められた箇所

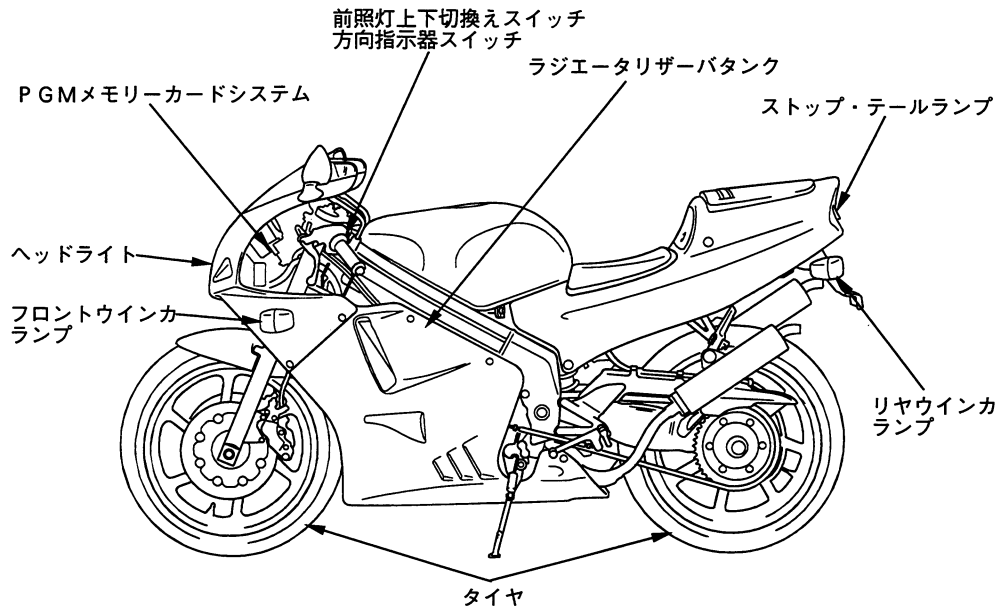
(※)印の点検は、お車の走行距離、運転時の状態等から判断した適切な時期に行う項目です。

# 日常点検

## メンテナンス部品配置図

点検の方法・要領は、取扱説明書の「簡単なメンテナンス」および別冊「メンテナンスノート」の 20 ページ以後をご覧ください。





# 定期点検

---

## 定期点検

定期点検は、道路運送車両法で定められた6か月、12か月ごとの点検と、使い始めてから1か月目(または、1,000 km時)に行う点検があります。

また、これらの法定点検項目のほかにホンダが推奨する点検整備項目もあります。

安全快適にお車をご使用いただくために、点検整備を必ず実施してください。

点検整備の実施は、お客様の責任です。これは、ご自身で行う場合も、他に依頼する場合も同様です。

- ご自身で実施できない場合は、ホンダ販売店にご相談ください。
- ご自身で実施する場合は、安全のためご自分の知識と技量に合わせた範囲内で行ってください。難しいと思われる内容については、ホンダ販売店にご相談ください。

点検整備のデータは、118 ページのサービスデータを参照してください。

点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検記録簿に記入し、大切に保存、携行してください。

6 か月点検項目は、次ページにあります。

点検内容等、詳しくは別冊「メンテナンスノート」の“定期点検の解説”( 23 ページ)をご覧ください。



## 6 か月点検項目

点検内容は、別冊「メンテナンスノート」の 23 ページをご覧ください。

- 点火装置
  - ・ スパークプラグの状態
- エンジン本体
  - ・ 排気ガスの状態
  - ・ エアクリーナエレメントの汚れ、詰まり
  - ・ エンジンオイルの漏れ
  - ・ 冷却水の量
  - ・ クラッチレバーの遊び
  - ・ クラッチの作用
- トランスミッション
  - ・ オイルの漏れ、量
- チェーン及びsprocket
  - ・ チェーンの緩み
  - ・ 遊び
- ブレーキペダル及びブレーキレバー
  - ・ ブレーキのきき具合
- ホース及びパイプ
  - ・ 漏れ、損傷、取付状態
- ホイール
  - ・ タイヤの空気圧
  - ・ ホイールのボルト、ナットの緩み
- スイッチ類
  - ・ 灯火装置、方向指示器の作用

## ホンダ推奨 6 か月点検整備項目

点検整備の内容は、82 ページを参照してください。

- ブレーキ装置
  - ・ パッドの摩耗

# 簡単なメンテナンス

---

## 簡単なメンテナンス

ここでは、通常行われることが多い簡単なメンテナンス(点検整備)について説明しています。

ご自身の知識、技量に合わせた範囲内で、適切な工具を使用し、メンテナンスを行ってください。  
安全のため、技量や作業に必要な工具をお持ちでない場合は、ホンダ販売店にご相談ください。

## ブレーキ

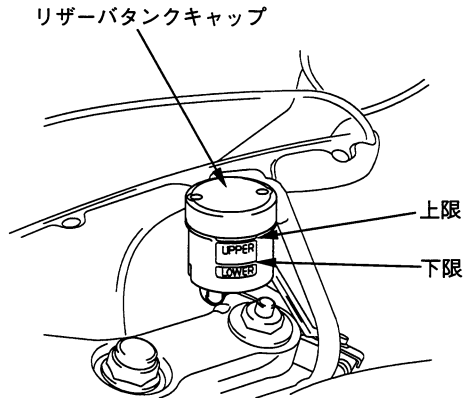
### 前輪ブレーキ

#### 《ブレーキ液の量の点検》

平坦地でスタンドを立て、ハンドルを動かし、リザーバタンクキャップ上面を水平にします。  
液面が上限と下限の間にあることを確認してください。

液面が下限以下の場合はブレーキパッドの摩耗が考えられます。パッドの摩耗の点検を行ってください。(次ページ参照)

ブレーキパッドが摩耗していない場合は、ブレーキシステムの液漏れが考えられます。  
ホンダ販売店にご相談ください。



# 簡単なメンテナンス

## 《ブレーキパッドの摩耗の点検》

(ホンダ推奨6か月点検整備項目)

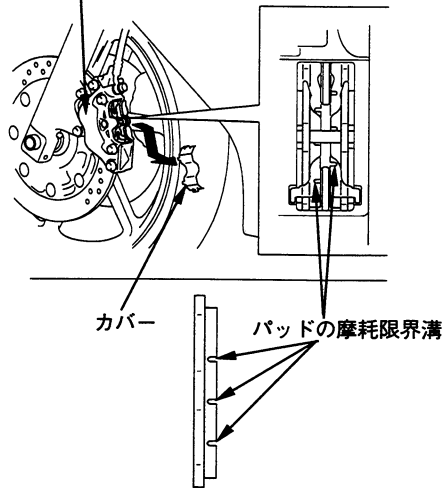
ブレーキキャリパのカバーを外し、パッドの摩耗限界溝がなくなったら、パッドの摩耗限界です。

摩耗限界に達したら、ブレーキパッドを左右同時に交換してください。

ブレーキパッドの交換は、ホンダ販売店にご相談ください。

[前輪]

ブレーキキャリパ



## 後輪ブレーキ

### 〈ブレーキ液の量の点検〉

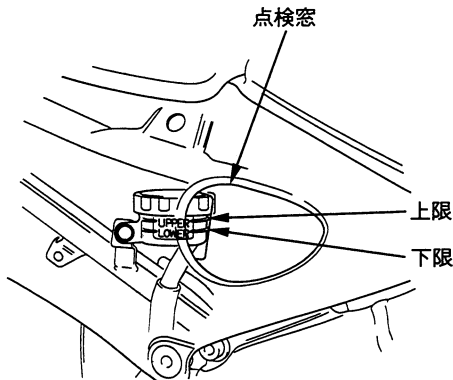
右サイドカバーの点検窓より確認します。

平坦地で車体を垂直にして、ブレーキ液面がレベルラインに平行な状態にします。

液面が上限と下限の間にあることを確認してください。

液面が下限以下の場合はブレーキパッドの摩耗が考えられます。パッドの摩耗の点検を行ってください。(次ページ参照)

ブレーキパッドが摩耗していない場合は、ブレーキシステムの液漏れが考えられます。ホンダ販売店にご相談ください。



## 簡単なメンテナンス

### 《ブレーキパッドの摩耗の点検》

(ホンダ推奨6か月点検整備項目)

ブレーキキャリパの後側からのぞいて、パッドの摩耗限界溝がなくなったら、パッドの摩耗限界です。

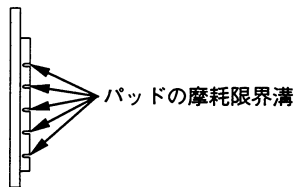
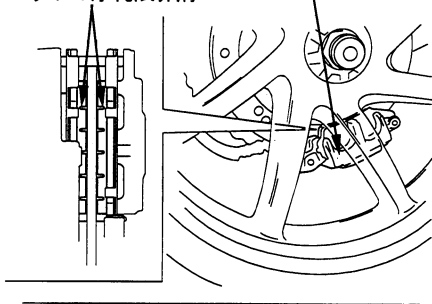
摩耗限界に達したら、ブレーキパッドを左右同時に交換してください。

ブレーキパッドの交換は、ホンダ販売店にご相談ください。

[後輪]

パッドの摩耗限界溝

ブレーキキャリパ



## タイヤ

車を安全に運転するには、タイヤを良い状態に保つことが必要です。

常に適正な空気圧を保ってください。

また、規定の数値を超えてすり減ったタイヤは、使用せず交換してください。

### 警告

過度にすり減ったタイヤの使用や、不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

取扱説明書に記載されたタイヤの空気圧を守り、規定の数値を超えてすり減ったタイヤは交換してください。

### 《空気圧の調整》

タイヤが冷えている状態で、エアゲージを使用し、適正な空気圧にします。

タイヤの空気圧		一人乗車	二人乗車
N S R 250 R	前輪	2.25 kgf/cm <sup>2</sup>	
	後輪	2.25 kgf/cm <sup>2</sup>	
N S R 250 R S E	前輪	2.25 kgf/cm <sup>2</sup>	
	後輪	2.50 kgf/cm <sup>2</sup>	

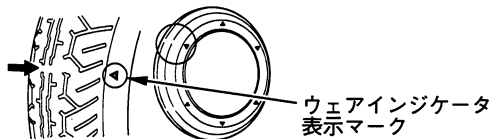
### 《溝の深さの点検》

溝の深さに不足がないかをウェアインジケータ（スリップサイン）により確認します。

ウェアインジケータがあらわれたときは、ただちに交換してください。

また、安全な走行のためトレッド中央部の溝の深さが次の数値になったときは交換してください。

前輪 1.5 mm      後輪 2.0 mm



## 簡単なメンテナンス

### 《交換タイヤの選択について》

タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用してください。

指定以外のタイヤは、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがありますので使用しないでください。

タイヤの交換は、ホンダ販売店にご相談ください。



指定以外のタイヤを取付けると、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがあります。そのことが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

タイヤ交換時には、必ず取扱説明書に記載された指定タイヤを取付けてください。



指定タイヤ

〈NSR250R〉

前輪	サイズ	110/70R17 54H
	タイプ	ブリヂストン CYROX-17 チューブレス ダンロップ K510A チューブレス
後輪	サイズ	150/60R17 66H
	タイプ	ブリヂストン CYROX-16 チューブレス ダンロップ K510B チューブレス

〈NSR250R SE〉

前輪	サイズ	110/70R17 54H
	タイプ	ブリヂストン BT-80F S RADIAL G チューブレス ダンロップ GPR50A チューブレス
後輪	サイズ	150/60R17 66H
	タイプ	ブリヂストン BT-80R S RADIAL G チューブレス ダンロップ GPR50JLB チューブレス

〈NSR250R SP〉

前輪	サイズ	110/70ZR17
	タイプ	ミシュラン TX-11B チューブレス
後輪	サイズ	150/60ZR17
	タイプ	ミシュラン TX-23B チューブレス

# 簡単なメンテナンス

## バッテリー

この車は、メンテナンスフリータイプのバッテリーを使用しています。バッテリー液の点検、補給は必要ありません。

バッテリーのターミナル部に汚れや腐食がある場合のみ清掃してください。

## バッテリーの取扱い

- バッテリー取扱い時には、ショートによる火花やたばこ等の火気に十分注意してください。
- バッテリー液は、希硫酸ですので目や皮膚に付着しないよう十分注意してください。

## アドバイス

- 密閉式バッテリーですので、液口キャップは絶対に取外さないでください。  
バッテリーの充電時も液口キャップを取外す必要はありません。

## 警告

バッテリーには、希硫酸が電解液として含まれています。希硫酸は腐食性が強く、目や皮膚に付着すると重いヤケドを負います。

- バッテリーの近くで作業する時は、保護メガネと保護服を着用してください。
- バッテリーを、子供の手の届く所に置かないでください。

## 万一の場合の応急処置

- 電解液が目につ着したとき  
ー コップなどに入れた水で、15分以上洗浄してください。加圧された水での洗浄は、目を痛めるおそれがあります。
- 電解液が皮膚につ着したとき  
ー 電解液のついた服を脱ぎ、皮膚を多量の水で洗浄してください。
- 電解液を飲み込んだとき  
ー 水、または牛乳を飲んでください。  
応急処置後、直ちに医師の診察を受けてください。

## 《バッテリーターミナル部の清掃》

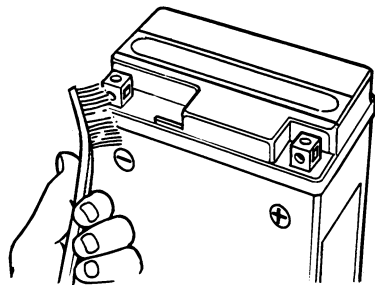
### 清掃のしかた

バッテリーを取外します。(次ページ参照)

- ターミナル部が腐食して白い粉が付いている場合は、ぬるま湯を注いで拭きます。
- ターミナル部の腐食が著しいものは、ワイヤブラシまたはサンドペーパーで磨きます。

その後、ターミナル部にグリースを薄く塗ります。  
清掃後、バッテリーを取付けます。

バッテリーを交換する場合は、必ずメンテナンスフリーバッテリーをご使用ください。



# 簡単なメンテナンス

## 《バッテリーの取付け、取外し》

### 取外し

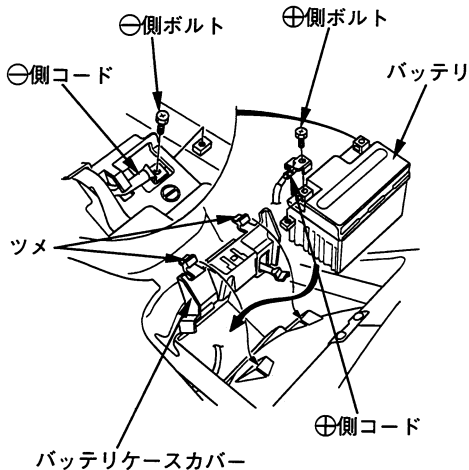
1. フロントシートを取外します。  
(51 ページ参照)
2. ⊖側のボルトを外し、⊖側コードを外します。
3. ツメを前方に押しながら、バッテリーケースカバーを開けます。
4. ⊕側のボルトを外し、⊕側コードを外します。
5. バッテリーを取出します。

### 取付け

取外しの逆手順でバッテリーを取付けます。

バッテリーコードは、必ず先に⊕側より取付けてください。

また、ターミナル部にゆるみが生じないように確実にボルト／ナットを締付けてください。



## ヒューズ

### 《ヒューズの点検、交換》

PGMメモリーカードを抜いて、ヒューズが切れていないことを確認します。

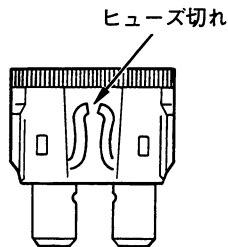
ヒューズが切れている場合は、指定されている容量のヒューズと交換します。

指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱、焼損の原因になるので絶対に使用しないでください。

交換してもすぐにヒューズが切れる場合はヒューズの劣化以外の原因が考えられます。原因を調べて、直してから新品と交換しましょう。

### 🔧 アドバイス

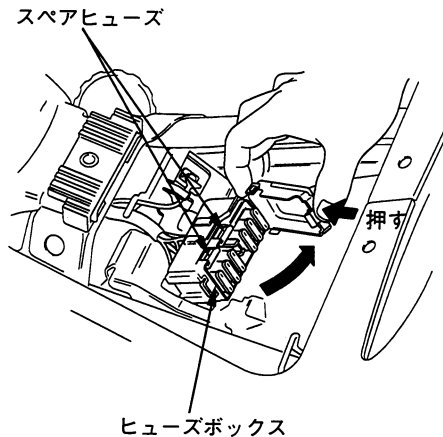
- 電装品類(ライト、計器など)を取付けるときは車種毎に決められている「ホンダアクセサリ」をご使用ください。それ以外のものを使用するとヒューズが切れたり、バッテリーあがりをおこすことがあります。



## 簡単なメンテナンス

### ヒューズボックス内のヒューズ

1. フロントシートを取外します。  
(51ページ参照)
2. ヒューズボックスのカバーを開けます。
3. 故障状況から、交換すべきヒューズをヒューズボックスの表示に従い確認します。  
スペアヒューズは、ヒューズボックス内にあります。
4. カバーを閉め、フロントシートを取付けます。

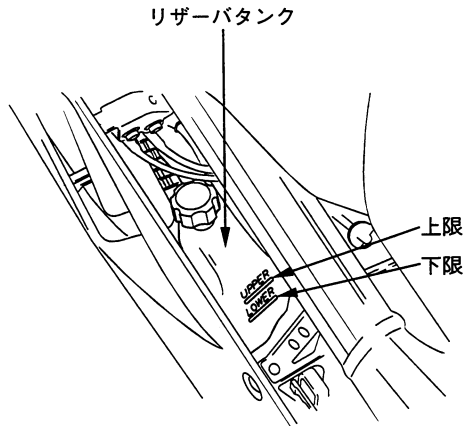


## 冷却水

### 《冷却水量の点検》

1. 平坦地で車体を垂直にします。
2. 冷却水がリザーバタンクの上限と下限の間にあることを確認します。  
水量が下限に近かったら、上限まで補給します。  
冷却水の補給は、次ページを参照してください。

冷却水の減り具合が著しいときは、ラジエータ本体、ホースなどからの水漏れが考えられます。また、リザーバタンクに冷却水がない場合も異常です。  
ホンダ販売店にご相談ください。



## 簡単なメンテナンス

---

### 《冷却水の補給》

補給はリザーバタンクのキャップから行い、通常はラジエータキャップを外さないでください。



エンジンが熱いときにラジエータキャップを外すと、冷却水が噴き出し、重いヤケドを負います。

ラジエータキャップを外す前には、必ずエンジン、ラジエータが冷えていることを確認してください。



### アドバイス

- 指定以外のラジエータ液や不適當な水を使うとさびなどの原因となります。



## 冷却水指定液

### ホンダ純正ウルトララジエータ液

指定液の濃度を上水道(軟水)で下記濃度に薄めてお使いください。

指定濃度:30%(寒冷地は50%)

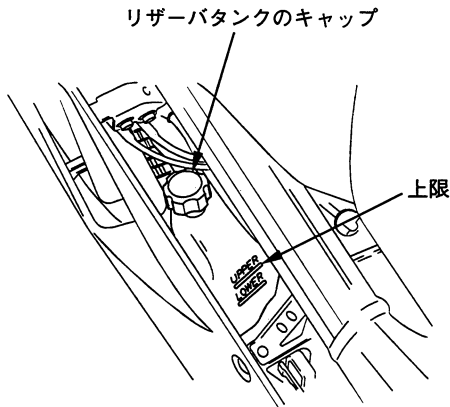
濃度による不凍温度は、

30%の場合 -16°C まで

50%の場合 -37°C まで

## 補給のしかた

1. リザーバタンクのキャップを外します。
2. 平坦地で車体を垂直にし、リザーバタンクの上限まで冷却水を補給します。
3. キャップを取付けます。



# 簡単なメンテナンス

---

## クラッチ

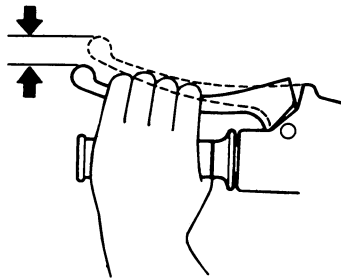
### 《クラッチレバーの遊びの点検》

抵抗を感じるまで、手でクラッチレバーを引き、レバー先端の遊びの量が規定の範囲内にあることをスケールなどで確認します。

クラッチレバーの遊び： 10-20 mm

規定の範囲を越えている場合は、調整してください。

調整のしかたは、次ページを参照してください。



### 調整のしかた

クラッチケーブルのクラッチレバー側またはクラッチ側のアジャスタにより遊びを調整します。主調整は、メンテナンススリッドを取外してください。

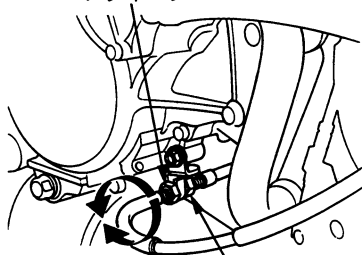
- 調整は、ロックナットをゆるめアジャスタを回して行います。
- 調整後、ロックナットを締付けます。

締付け後、クラッチレバーの遊びを確認してください。

また、調整後エンジンをかけ、チェンジ操作がスムーズであるか、エンストまたは飛び出し等がないかも確認してください。

### 《主調整》

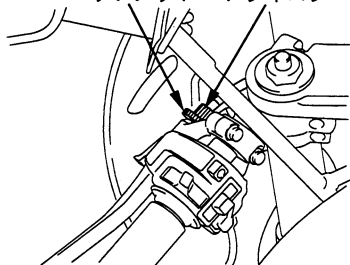
アジャスタ



ロックナット

### 《微調整》

ロックナット アジャスタ



# 簡単なメンテナンス

## トランスミッション

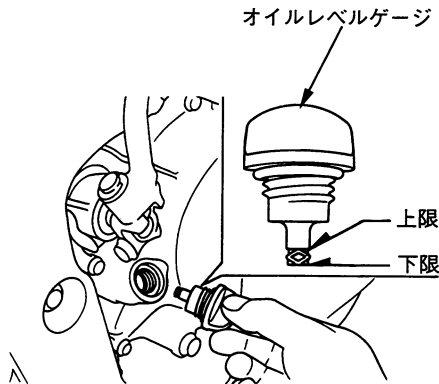
エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

### 《オイル量の点検》

1. 平坦地でエンジンを2～3分間アイドリングさせます。
2. エンジン停止2～3分後にオイルレベルゲージを外します。
3. 布等でオイルレベルゲージに付いたオイルを拭きます。
4. 車体を垂直にして、オイルレベルゲージをねじ込まず差し込みます。
5. オイルがオイルレベルゲージの上限と下限の間にあることを確認します。

オイル量が下限に近かったら、上限まで補給します。

補給するときは、オイル注入口からゴミなどが入らないようにしてください。オイルをこぼしたときは、完全にふきとってください。



6. オイルレベルゲージを確実に取付けます。

### 🏍️ アドバイス

- オイルは規定量より多くても少なくても、悪影響を与えます。

## 推奨オイル

ホンダ純正オイル(4サイクル二輪車用)

	API分類	SAE規格
ウルトラU	SE級	10W-30
ウルトラGP	SF級	10W-40 または 20W-50

相当品をご使用の場合、オイル容器の表示を確認し、API分類とSAE規格が推奨オイルと一致するオイルをお選びください。

なお、API分類とSAE規格が推奨オイルと同じでも、特性が微妙に異なりこの車に適合しない場合があります。

## アドバイス

- 銘柄やグレードの異なるオイルを混用しないでください。また、低品質オイルや高品質オイルでもこの車に適合しないオイルは、使用しないでください。オイルが変質したり、適合しないため、この車本来の性能が発揮できないばかりでなく、エンジンの故障や損傷の原因となります。

### 《NSR250Rのみ》

- クラッチは、トランスミッションオイルに浸されています。過度に摩擦を低減するオイルは、クラッチの滑りや始動不良などを発生させます。また、エンジン性能や寿命に悪影響を与える場合があります。
  - 必要以上に摩擦低減剤を含むオイルは、使用しないでください。
  - 必要以上に摩擦を低減する添加物は、加えないでください。

## 簡単なメンテナンス

---

### 交換時期

10,000 kmごと

または

2年ごと

トランスミッションオイルの交換は、ホンダ販売店にご相談ください。

### 《オイル漏れの点検》

トランスミッションケースなどから、オイルが漏れていないことを確認します。

## ドライブチェーン

### 《緩み(たるみ)の点検》

スタンドを立て、前後スプロケットの中央を手で上下に動かし、チェーンの緩み(たるみ)が規定の範囲内にあることをスケールなどで確認します。

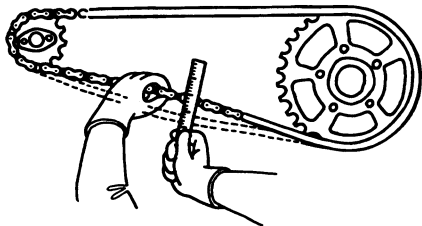
ドライブチェーンの緩み：25-35 mm

緩みが規定の範囲を越えている場合は、調整してください。

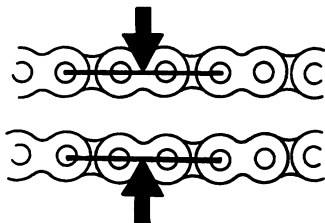
ドライブチェーンの緩みが 50 mm 以上の場合、絶対に走行しないでください。

また、車体を垂直にし、車体を前後に動かしてチェーンが滑らかに回転することを確認します。チェーンの回転が滑らかでない場合や、異音が出る場合は異常です。

調整などの場合はホンダ販売店にご相談ください。



ドライブチェーンの緩み(たるみ)



## 簡単なメンテナンス

### 《給油と清掃》

車体を前後に動かしてはサイドスタンドを立て、チェーンやスプロケットに付着した泥、汚れをブラシなどで落とします。このチェーンは、ゴムのシールを使用しているのでスチーム洗浄は行わないでください。

汚れを落とした後、給油を行います。オイルがチェーン各部によく行きわたるようにチェーンローラの両側に給油してください。

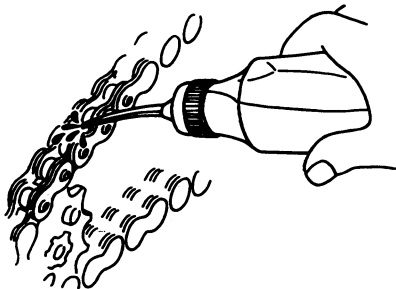
チェーンにオイルをつけ過ぎると、衣服や車に飛び散り、汚しますのでオイルをつけ過ぎないように注意してください。

### 指定オイル

“ホンダ純正チェーンオイル”またはギヤオイル(#80~#90)

### 🏍️ アドバイス

- ホンダ純正チェーンオイル以外の溶剤入り潤滑油(チェーンスプレー等)は、チェーンの寿命を縮めるものがあるので使用しないでください。

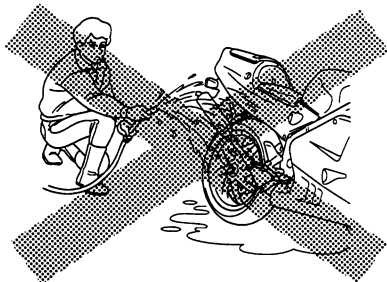




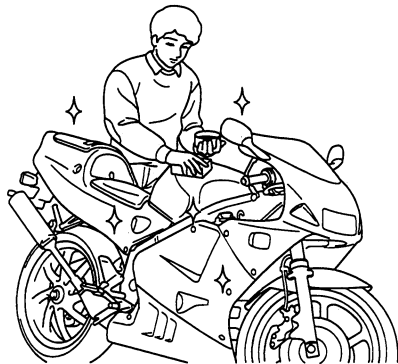
## 車のお手入れ

- 洗車時、マフラに水を入れしないでください。マフラ内部に水がたまると始動不良やサビの発生などの原因になることがあります。
- 洗車時、ブレーキの制動部分に水をかけないようにしてください。水がかかるとブレーキの効き具合が悪くなる場合があります。

洗車後は、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意し、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認してください。もし、ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- 車にワックスをかけるとき、塗装面及び樹脂部をコンパウンド、ワックスなどで強く磨くと塗膜が薄くなったり、色むらが生じますのでご注意ください。



# 車のお手入れ

---

## アルミ部品、マグネシウムホイールの取扱い

---

サイレンサ、ホイール、フレームはアルミニウム合金を使用しています。

アルミ部品やマグネシウムホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。

(NSR250R SPのホイールは、マグネシウム合金製です。)

### 《お手入れ》

- アルミ部品やマグネシウムホイールは、塩分など汚れを嫌いますので、海水及び道路凍結防止剤などが付いたときには、早めに、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを落した後、十分に水洗いをしてから乾いた布で水分を拭き取ってください。

### 《取扱い》

- アルミ部品やマグネシウムホイールは、傷がつきやすいのでかためのものでこすったり、すり当てたりしないでください。  
特に、アルミサイレンサは傷がつきやすいので取扱いには十分注意してください。  
サイレンサに浅い傷がついた時は、コンパウンドワックスでみがいてください。
- マグネシウムホイールの表面に傷がついた場合は、汚れを取除いてから、補修用塗料を塗って補修してください。
- 砂入り石鹸や硬いブラシは、アルミ部品やマグネシウムホイールを傷つけますので使用しないでください。

---

## フェアリングの取扱い

フェアリングの取扱いには次の項目をお守りください。

- ウィンドスクリーン、フロントフェンダは傷がつきやすいので、清掃するときは多量の水を使って、やわらかい布かスポンジで汚れを落してください。  
汚れのひどい時は、中性洗剤を使用してください。
- ガソリン、ブレーキ液または洗浄液等の化学物質がメータ、ウィンドスクリーン、フェアリング、サイドカバー等の樹脂部品およびヘッドライトにかかると、亀裂などが発生しますので、絶対にかからないようにしてください。
- ウィンドスクリーンに貼付されているコーションラベルは、はがさないでください。

## 地球環境の保護について

---

地球の環境を守るため、使用済みのバッテリーやタイヤ、エンジンオイルの廃油等は、むやみに捨てないでください。

また、将来お車を廃車される場合も同様です。これらのものを廃却する場合は、お買いあげのホンダ販売店にご相談ください。

### 《ダンパユニットについて》

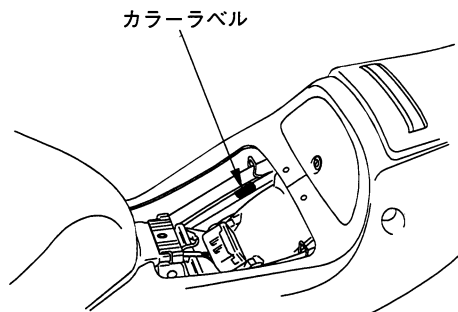
リヤクッションのダンパユニットには、高圧チックス素が封入されています。また、ダンパユニットは、分解すると再組立ができません。

- 火中に入れたり、穴をあけたり、分解したりしないでください。
- 廃却する際は、ホンダ販売店にお申しつけください。

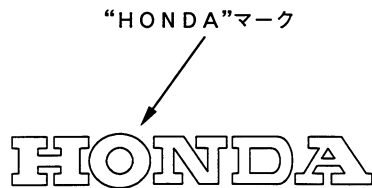
色物部品をご注文のときは、カラーラベルに記載されているモデル名、カラーおよびコードをお知らせください。

カラーラベルは、フロントシート下のフレーム上に貼ってあります。

フロントシートを取外すと(51 ページ参照)カラーラベルが確認できます。



マフラの後部には、ホンダ純正部品を表す“HONDA”マークが刻印されています。



## シリアルナンバーについて

---

シリアルナンバーとは、PGMメモリーカード、PGMユニットを注文するときに必要な車ごとに異なるナンバーのことです。

PGMメモリーカードなどをご注文の際は、お買い上げのホンダ販売店へお知らせください。

《カード貼付欄》

### 知識

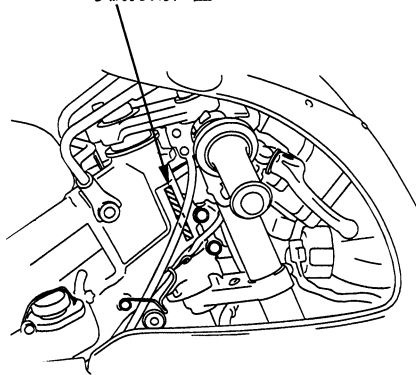
- 盗難防止のため、シリアルナンバーは他人に知られないように保管してください。

# フレーム号機

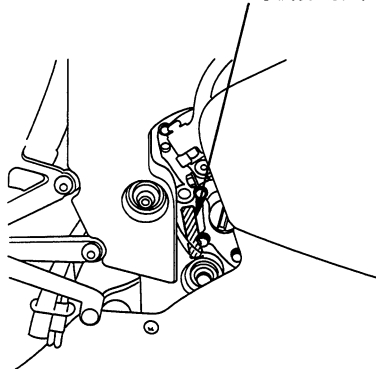
フレーム号機は、部品を注文するときや、車の登録に関する手続に必要です。

また、フレーム号機は、お車が盗難にあった場合に、車を捜す手掛りにもなります。ナンバープレートの登録番号と共に別紙に記録し、車と別に保管することをおすすめします。

フレーム号機打刻位置



エンジン号機打刻位置



## オーバーヒートしたとき

---

### 《オーバーヒートの処置手順》

1. PGMメモリーカードを抜いて、エンジンが冷えるのを待ちます。
2. エンジンが冷えてから、リザーバタンクの冷却水量を確認します。( 93 ページ参照)
  - 冷却水が不足していたら、リザーバタンクに補給してください。( 94 ページ参照)
3. ラジエータホースなどを点検し、水漏れがないか確認します。
  - 水漏れがある場合：  
エンジンをかけず、ホンダ販売店にご相談ください。
  - 水漏れがない場合：  
走行可能です。ただし、異常が再発するときは、ホンダ販売店にご相談ください。
4. 異常が再発しない場合でも、なるべく早くホンダ販売店で点検を受けてください。



## エンジンが始動しないとき

---

始動しないまたは動かなくなったときは、次の点を調べてください。

- エンジンのかけかたは取扱説明書通りですか。
- 燃料タンクにガソリンはありますか。
- エンジンストップスイッチはRUNになっていますか。OFFの状態になっていたときは、次のことを行ってください。
  1. PGMメモリーカードを抜きます。
  2. チョークレバーを完全に戻します。
  3. スロットルを全開にします。
  4. キックペダルを4～5回踏んでエンジンを回します。
  5. PGMメモリーカードを挿入し61ページの始動要領でエンジンをかけてください。

### 故障の修理

- お近くのホンダ販売店にお申しつけください。
- むやみに修理しないで、早くホンダ販売店で点検整備を受けることが、お車を長持ちさせる秘けつです。

# 主要諸元

## 〈NSR250R〉

型	式	MC28
長	さ	1,970 mm
	幅	650 mm
高	さ	1,045 mm
軸	距	1,340 mm
原 動 機 種 類 / 総 排 気 量		ガソリン・2サイクル / 0.249 ℓ
車 両 重 量		153 kg
乗 車 定 員		2 人
タ イ ヤ	前 輪	110/70R17 54H
	後 輪	150/60R17 66H
最 低 地 上 高		130 mm
燃 料 消 費 率		22.2 km/ℓ (車速60 km/h)
制 動 停 止 距 離		14.0 m (初速50 km/h)
最 小 回 転 半 径		2.9m
圧 縮 比		7.4
圧 縮 圧 力		10.0 kgf/cm <sup>2</sup> —400 r p m
最 高 出 力		40 PS/9,000 rpm
最 大 ト ル ク		3.3 kg-m/8,500 rpm
燃 料 タ ン ク 容 量		16 ℓ

点 火 形 式		C D I 式 バッテリ点火
点 火 時 期	前 シ リ ン ダ	BTDC 15°/1,250 rpm
	後 シ リ ン ダ	BTDC 5°/1,250 rpm
ア イ ド リ ン グ 回 転 数		1,250 rpm
点火プラグ	NGK	BR8ECM      BR9ECM BR10ECM
	日本電装	W24EMR-C    W27EMR-C W31EMR-C
蓄 電 池 ( バ ッ テ リ )		12V-3Ah
機 関 から 変 速 機 ま での 減 速 比		2.500
ク ラ ッ チ 形 式		湿式多板コイル・スプリング
変 速 機 形 式		常時嚙合式
変 速 機 操 作 方 式		左足動式
変 速 比	1 速	2.846
	2 速	2.000
	3 速	1.578
	4 速	1.300
	5 速	1.130
	6 速	1.000
第 一 減 速 比		2.933

# 主要諸元

## 〈NSR250R SE〉

型	式	MC28
長	さ	1,970 mm
	幅	650 mm
高	さ	1,045 mm
軸	距	1,340 mm
原 動 機 種 類 / 総 排 気 量		ガソリン・2サイクル / 0.249 ℓ
車 両 重 量		157 kg
乗 車 定 員		2人
タ イ ヤ	前 輪	110/70R17 54H
	後 輪	150/60R17 66H
最 低 地 上 高		130 mm
燃 料 消 費 率		22.2 km/ℓ (車速60 km/h)
制 動 停 止 距 離		14.0 m (初速50 km/h)
最 小 回 転 半 径		2.9m
圧 縮 比		7.4
圧 縮 圧 力		10.0 kgf/cm <sup>2</sup> -400 r p m
最 高 出 力		40 PS/9,000 rpm
最 大 ト ル ク		3.3 kg-m/8,500 rpm
燃 料 タ ン ク 容 量		16 ℓ

点 火 形 式	C D I 式 バッテリ点火	
点 火 時 期	前 シ リ ン ダ	BTDC 15°/1,250 rpm
	後 シ リ ン ダ	BTDC 5°/1,250 rpm
ア イ ド リ ン グ 回 転 数	1,250 rpm	
点火プラグ	NGK	BR8ECM BR9ECM BR10ECM
	日本電装	W24EMR-C W27EMR-C W31EMR-C
蓄 電 池 ( バ ッ テ リ )	12V-3Ah	
機 関 から 変 速 機 ま だ の 減 速 比	2.500	
ク ラ ッ チ 形 式	乾式多板コイル・スプリング	
変 速 機 形 式	常時嚙合式	
変 速 機 操 作 方 式	左足動式	
変 速 比	1 速	2.846
	2 速	2.000
	3 速	1.578
	4 速	1.300
	5 速	1.130
	6 速	1.000
第 一 減 速 比	2.933	

# 主要諸元

## 〈NSR250R SP〉

型	式	MC28
長	さ	1,970 mm
	幅	650 mm
高	さ	1,045 mm
軸	距	1,340 mm
原 動 機 種 類 / 総 排 気 量		ガソリン・2サイクル / 0.249 ℓ
車 両 重 量		156 kg
乗 車 定 員		2人
タ イ ヤ	前 輪	110/70ZR17
	後 輪	150/60ZR17
最 低 地 上 高		130 mm
燃 料 消 費 率		22.2 km/ℓ (車速60 km/h)
制 動 停 止 距 離		14.0 m (初速50 km/h)
最 小 回 転 半 径		2.9m
圧 縮 比		7.4
圧 縮 圧 力		10.0 kgf/cm <sup>2</sup> -400 r p m
最 高 出 力		40 PS/9,000 rpm
最 大 ト ル ク		3.3 kg-m/8,500 rpm
燃 料 タ ン ク 容 量		16 ℓ

点 火 形 式	C D I 式 バッテリ点火	
点 火 時 期	前 シ リ ン ダ	BTDC 15°/1,250 rpm
	後 シ リ ン ダ	BTDC 5°/1,250 rpm
アイドリング回転数	1,250 rpm	
点火プラグ	NGK	BR8ECM BR9ECM BR10ECM
	日本電装	W24EMR-C W27EMR-C W31EMR-C
蓄電池 ( バ ッ テ リ )	12V-3Ah	
機関から変速機までの減速比	2.500	
ク ラ ッ チ 形 式	乾式多板コイル・スプリング	
変 速 機 形 式	常時嚙合式	
変 速 機 操 作 方 式	左足動式	
変 速 比	1 速	2.846
	2 速	2.000
	3 速	1.578
	4 速	1.300
	5 速	1.130
	6 速	1.000
第 一 減 速 比	2.933	

# サービスデータ

ドライブチェーンの緩み(たるみ)		25-35 mm	
タイヤ空気圧		1人乗車	2人乗車
	NSR250R	前輪	2.25 kgf/cm <sup>2</sup>
	NSR250R SE	後輪	2.25 kgf/cm <sup>2</sup>
	NSR250R SP	前輪	2.25 kgf/cm <sup>2</sup>
		後輪	2.50 kgf/cm <sup>2</sup>
エンジンオイル量(分離給油)		1.2 ℓ	
トランスミッションオイル量	全容量	0.8 ℓ	
	オイル交換時	0.7 ℓ	
クラッチレバーの遊び		10-20 mm	
ヒューズ	メインヒューズ	30A	
	ヒューズ	15A,7.5A	
点火プラグの点火すきま		0.7-0.8 mm	
エアクリーナエレメント	形式	ウレタンフォーム式	
電球(バルブ)	ヘッドライト	12V-60/35W×2	
	フロントウインカランプ	12V-18/5W	
	リヤウインカランプ	12V 15W	
	テール・ストップランプ	12V-5/18W×2	



お問い合わせ、ご相談は、お買い求めの《ホンダ販売店》もしくは全国共通フリーダイヤルまたは直通電話で下記のお客様相談センターがお受け致します。

フリーダイヤル	0 1 2 0 — 0 8 6 8 1 9
直通電話	0 3 — 3 4 2 3 — 4 2 1 1

本田技研工業株式会社 お客様相談センター  
受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00  
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

- 所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

